

平成29年度「福島県の情報教育の実態等に関する調査」結果

福島県教育センター

I 調査の目的・内容

この調査は、情報機器を活用した学習指導の推進と当教育センターの情報教育に関する研究の充実及び講座内容の改善を図るため、県内の公立学校における情報教育の実態等を把握するためのものである。具体的には、「ICTの活用状況」、「学校Webサイト」、「児童生徒のインターネット利用」、「情報モラル」、「個人情報保護及び情報セキュリティ」、「教員用コンピュータの校内ネットワーク環境」等について調査した。

II 調査の方法

1 対象

休業校等を除いた本県の公立小学校433校、中学校218校、高等学校85校、特別支援学校17校、計753校を対象として実施し、回答率は100%であった。

2 実施期間

平成29年4月26日（水）～ 5月23日（火）

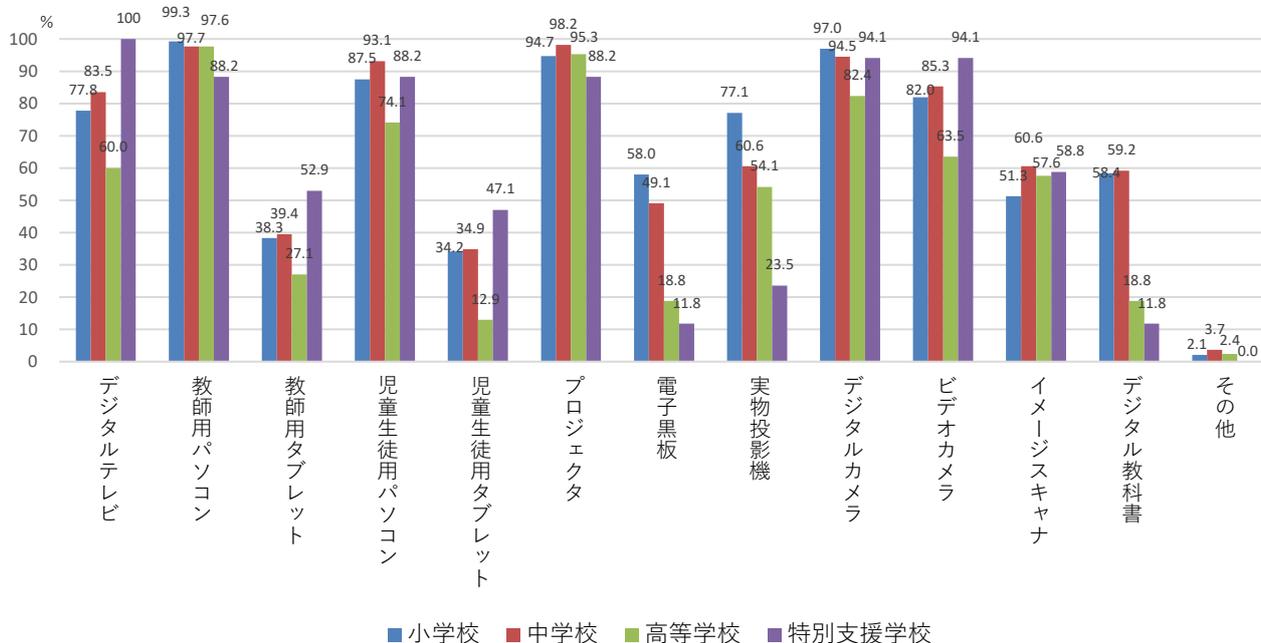
III 調査結果

1 ICTの活用状況について

(1) 学校内においてどのICT機器・教具を活用しましたか。（複数回答可）

- | | | |
|-------------|----------------|------------|
| ア デジタルテレビ | イ 教師用パソコン | ウ 教師用タブレット |
| エ 児童生徒用パソコン | オ 児童生徒用タブレット | カ プロジェクタ |
| キ 電子黒板 | ク 実物投影機（書画カメラ） | ケ デジタルカメラ |
| コ ビデオカメラ | サ イメージスキャナ | シ デジタル教科書 |
| ス その他 | | |

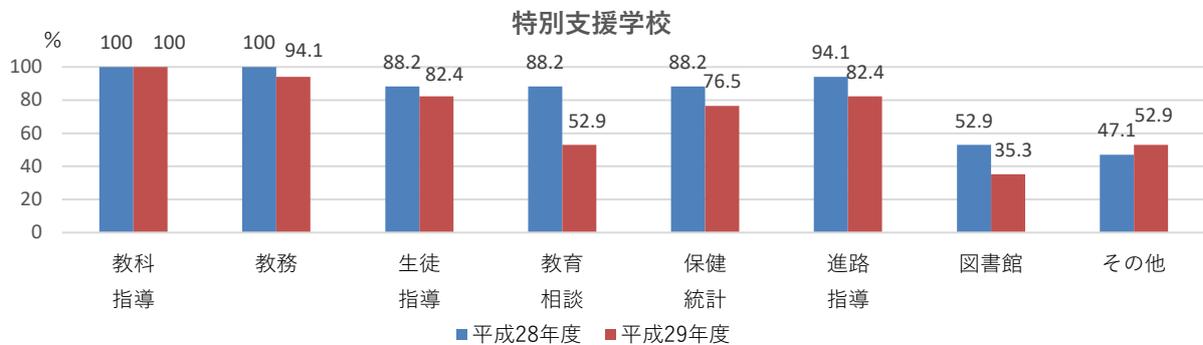
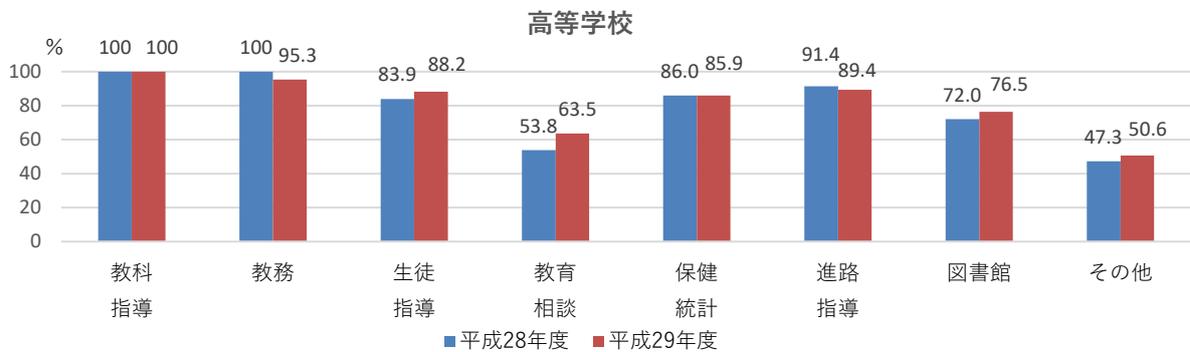
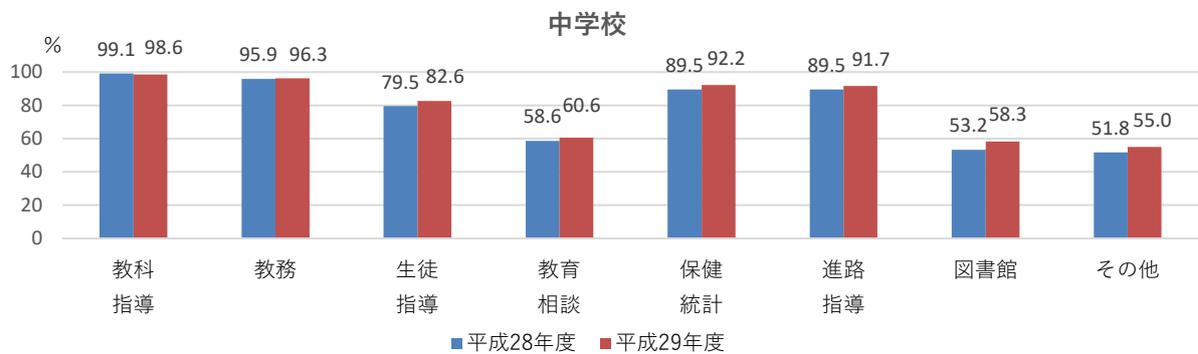
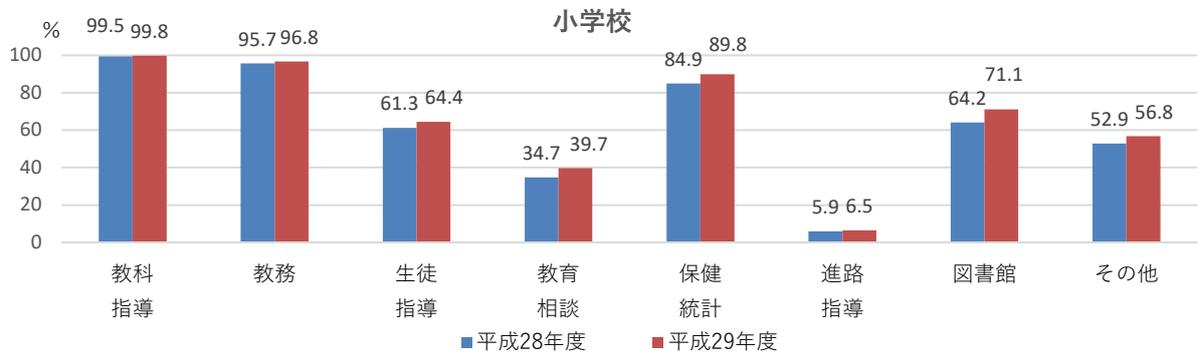
ICT校内活用状況



全校種において「教師用パソコン」、「プロジェクタ」、「デジタルカメラ」の活用割合が高い。また、特別支援学校では「タブレット」の活用割合が高く、小学校では「実物投影機」の活用割合が高い。

(2)① 学校内においてICT機器・教具をどのような校務で活用しましたか。(複数回答可)
 (注) 成績処理は「イ 教務関係」に、スポーツテストのデータ処理は「オ 保健統計関係」に含めてください。

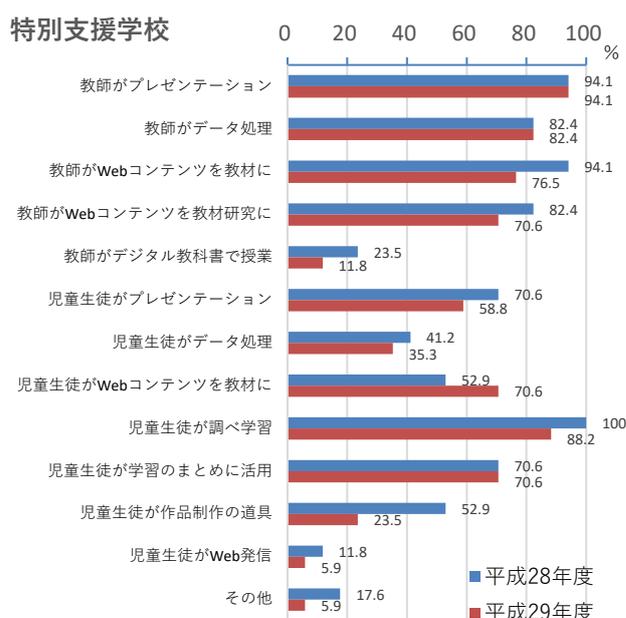
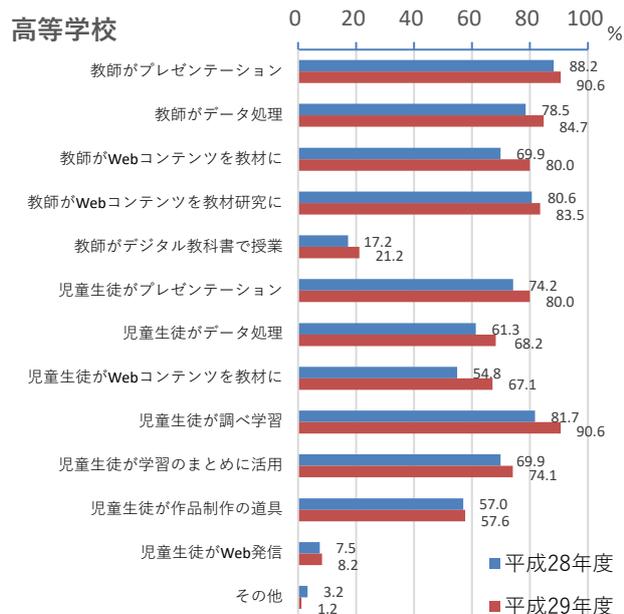
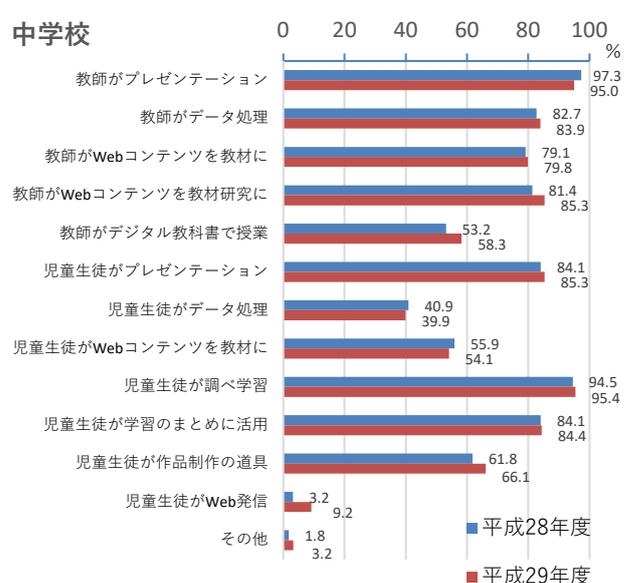
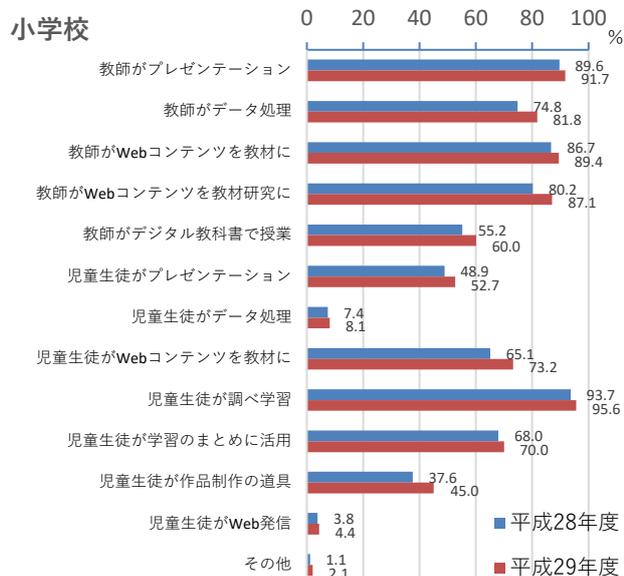
- ア 教科指導関係 イ 教務関係 ウ 生徒指導関係 エ 教育相談関係
 オ 保健統計関係 カ 進路指導関係 キ 図書館関係 ク その他の事務関係



各校種において「教科指導」、「教務」、「保健統計」の活用割合が高い。また、中学校や高等学校、特別支援学校では「進路指導」、「生徒指導」による活用割合が高い。

(2)② ①で「ア 教科指導関係」を選択した学校のみ、お答えください。
 ICT機器・教具をどのような方法で活用しましたか。(複数回答可)
 (注) Webコンテンツとは、インターネットのWebサイト(ホームページ)上の内容を指します。

- ア 教師が、プレゼンテーション(提示)を行った
- イ 教師が、データ処理や計測機器として活用した
- ウ 教師が、Webコンテンツを教材として活用した
- エ 教師が、教材研究にWebコンテンツを活用した
- オ 教師が、デジタル教科書で授業を行った
- カ 児童生徒に、プレゼンテーション(発表)をさせた
- キ 児童生徒に、データ処理や計測機器として活用させた
- ク 児童生徒に、Webコンテンツを教材として活用させた
- ケ 児童生徒に、調べ学習をさせた
- コ 児童生徒に、調べたことや学んだことをまとめさせた
- サ 児童生徒に、作品制作の道具として活用させた
- シ 児童生徒に、Webを通して学習成果を発信させた
- ス その他

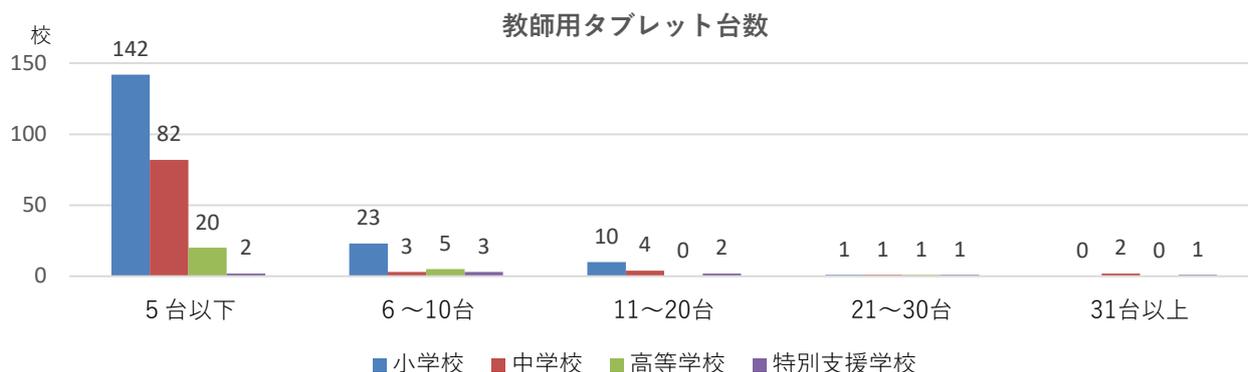


前年度と比較すると、小学校、中学校、高等学校では、教師のWebコンテンツの活用等が増加している。高等学校では生徒が「調べ学習」、「学習のまとめに活用」等の活用が増えている。

(3)① (1)で「ウ 教師用タブレット」を選択した学校のみ、お答えください。

教師用タブレットは、校内に何台程度ありますか。

ア 5台以下 イ 6～10台 ウ 11～20台 エ 21～30台 オ 31台以上

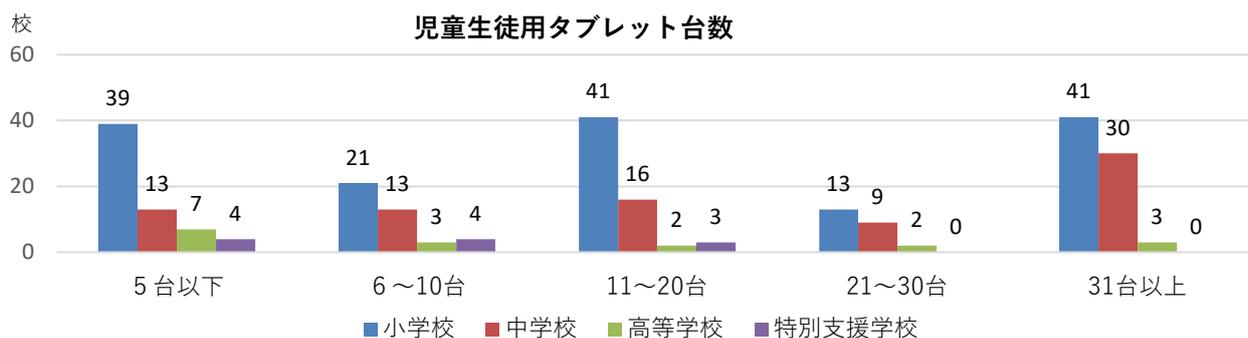


教師用タブレットは、小学校40.6%、中学校42.2%、高等学校30.6%、特別支援学校52.9%で導入されている。各学校の台数は5台以下がほとんどである。

(3)② (1)で「オ 児童生徒用タブレット」を選択した学校のみ、お答えください。

児童生徒用タブレットは、校内に何台程度ありますか。

ア 5台以下 イ 6～10台 ウ 11～20台 エ 21～30台 オ 31台以上

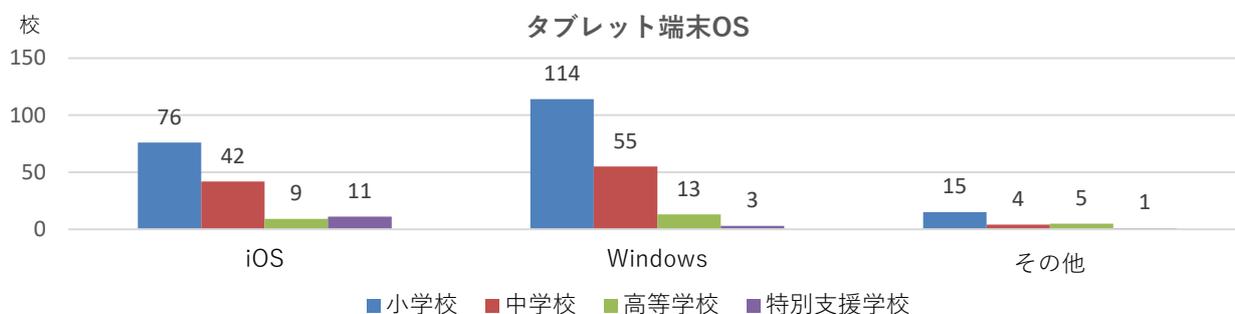


児童生徒用タブレットは、小学校35.8%、中学校37.2%、高等学校20.0%、特別支援学校64.7%で導入されている。台数は学校によって様々であるが、小学校、中学校では31台以上導入されている学校も見られる。

(3)③ (1)で「ウ 教師用タブレット」、「オ 児童生徒用タブレット」を選択した学校のみ、お答えください。

保有しているタブレット端末についてOSの種類をお答えください。

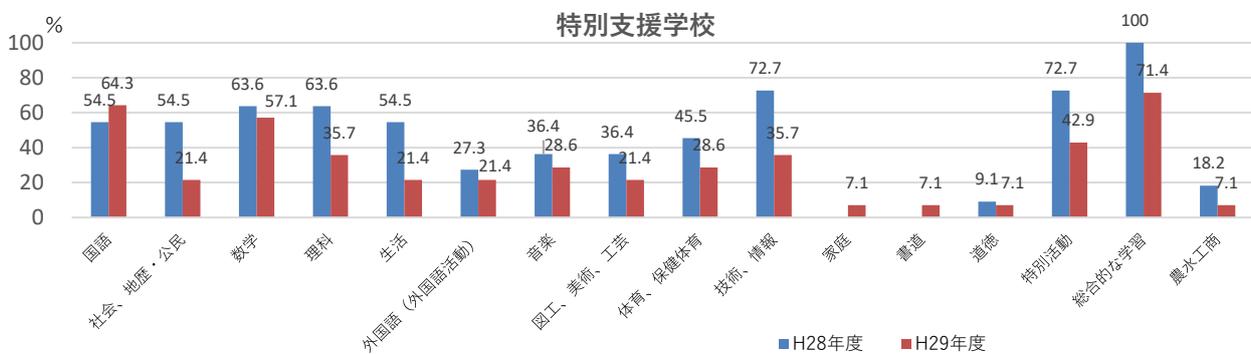
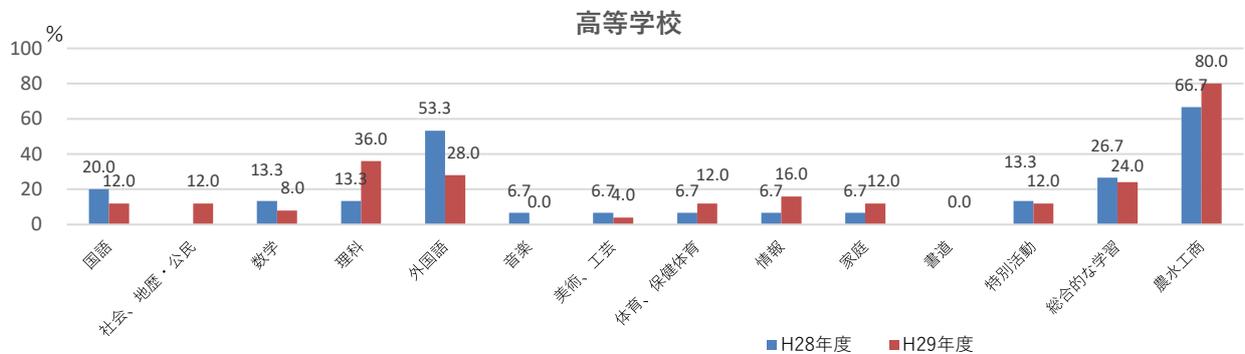
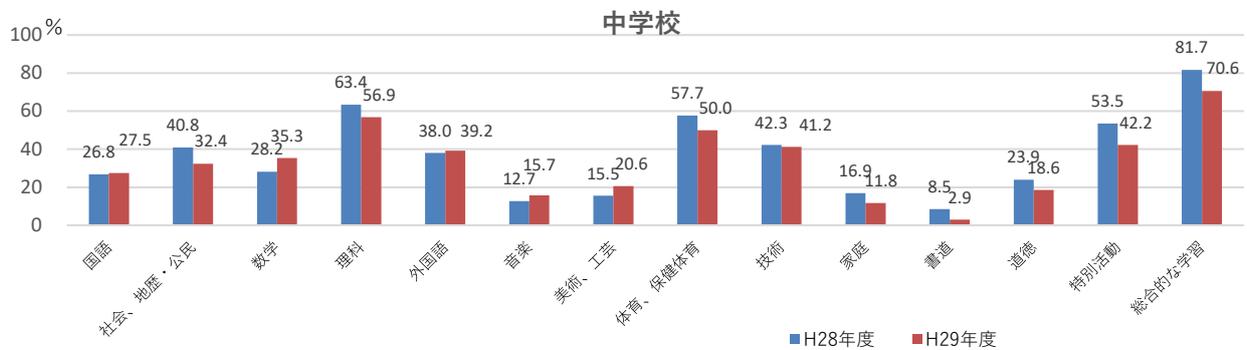
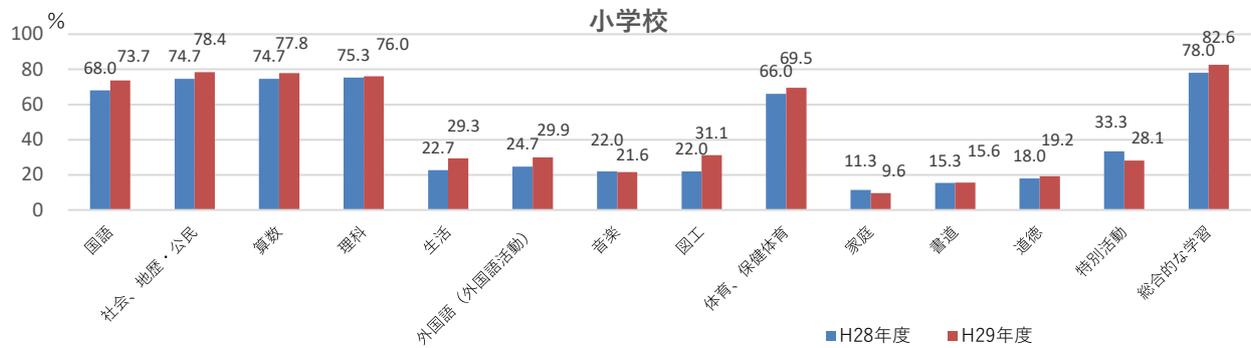
ア iOS イ Windows ウ その他



小学校ではWindowsタブレットの導入が多いが、それ以外の校種で大きな台数の差は見られない。

(3)④ (1)で「ウ 教師用タブレット」、「オ 児童生徒用タブレット」を選択した学校のみ、お答えください。タブレット端末を活用して授業実践を行った教科(科目)等はどれですか。(複数回答可)

- | | | | |
|---------------------------|---------------|----------|----------------|
| ア 国語 | イ 社会, 地理歴史・公民 | ウ 算数, 数学 | エ 理科 |
| オ 生活 | カ 外国語(外国語活動) | キ 音楽 | ク 図画工作, 美術, 工芸 |
| ケ 体育, 保健体育 | コ 技術, 情報 | サ 家庭 | シ 書道 |
| ス 道徳 | セ 特別活動 | | ソ 総合的な学習の時間 |
| タ 農業・水産・工業・商業・福祉・看護等の専門教科 | | | |



小学校では、「国語」、「社会」、「算数」、「理科」、「体育」、「総合的な学習の時間」での活用が多い。中学校では、「理科」、「保健体育」、「総合的な学習の時間」での活用が多い。高等学校では、「専門教科」での活用が多い。特別支援学校では、「国語」、「数学」、「総合的な学習の時間」での活用が多い。

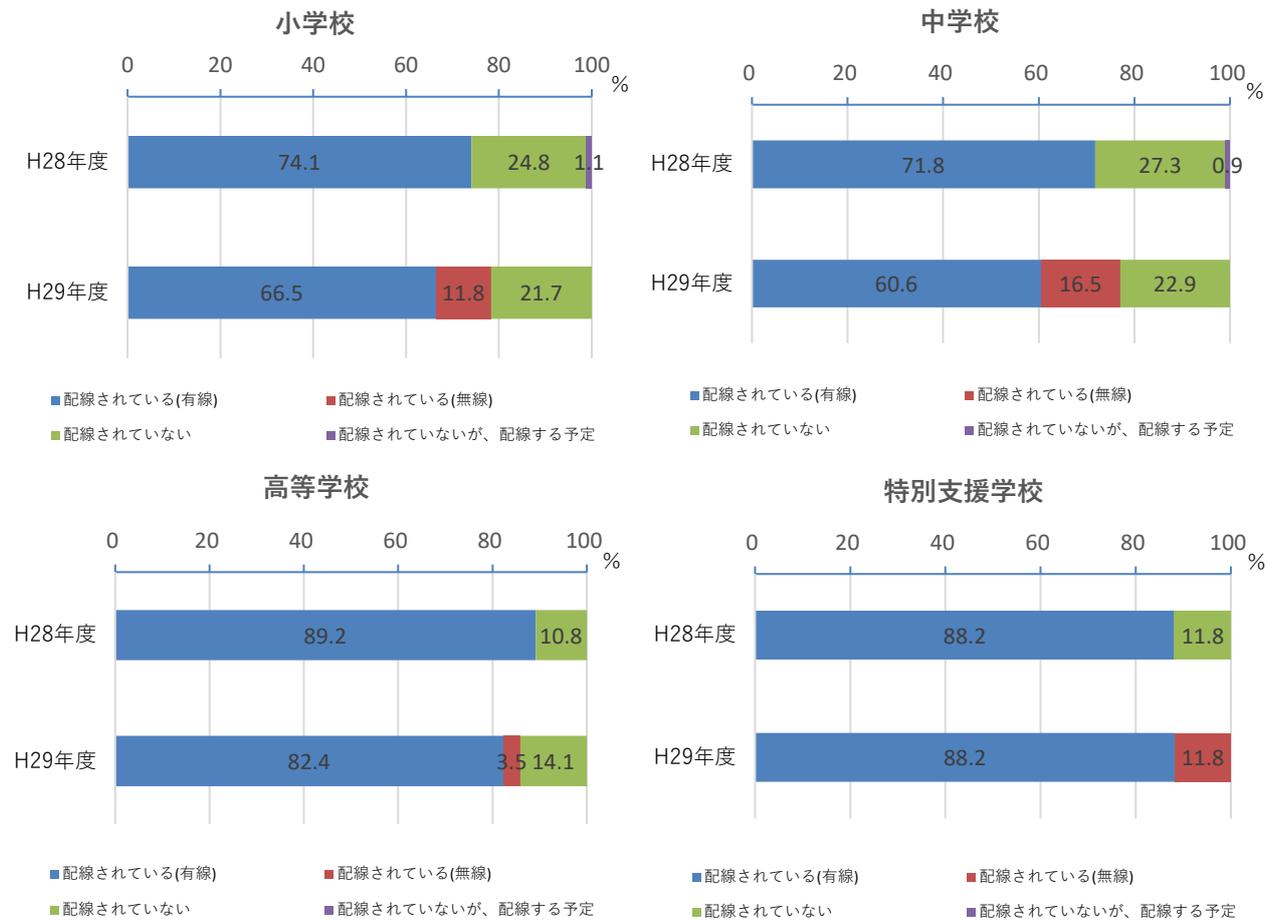
(4) 普通教室に、ネットワーク回線は配線されていますか。

ア 配線されている(有線)

イ 配線されている(無線LAN)

ウ 配線されていない

エ 配線されていないが、配線する予定

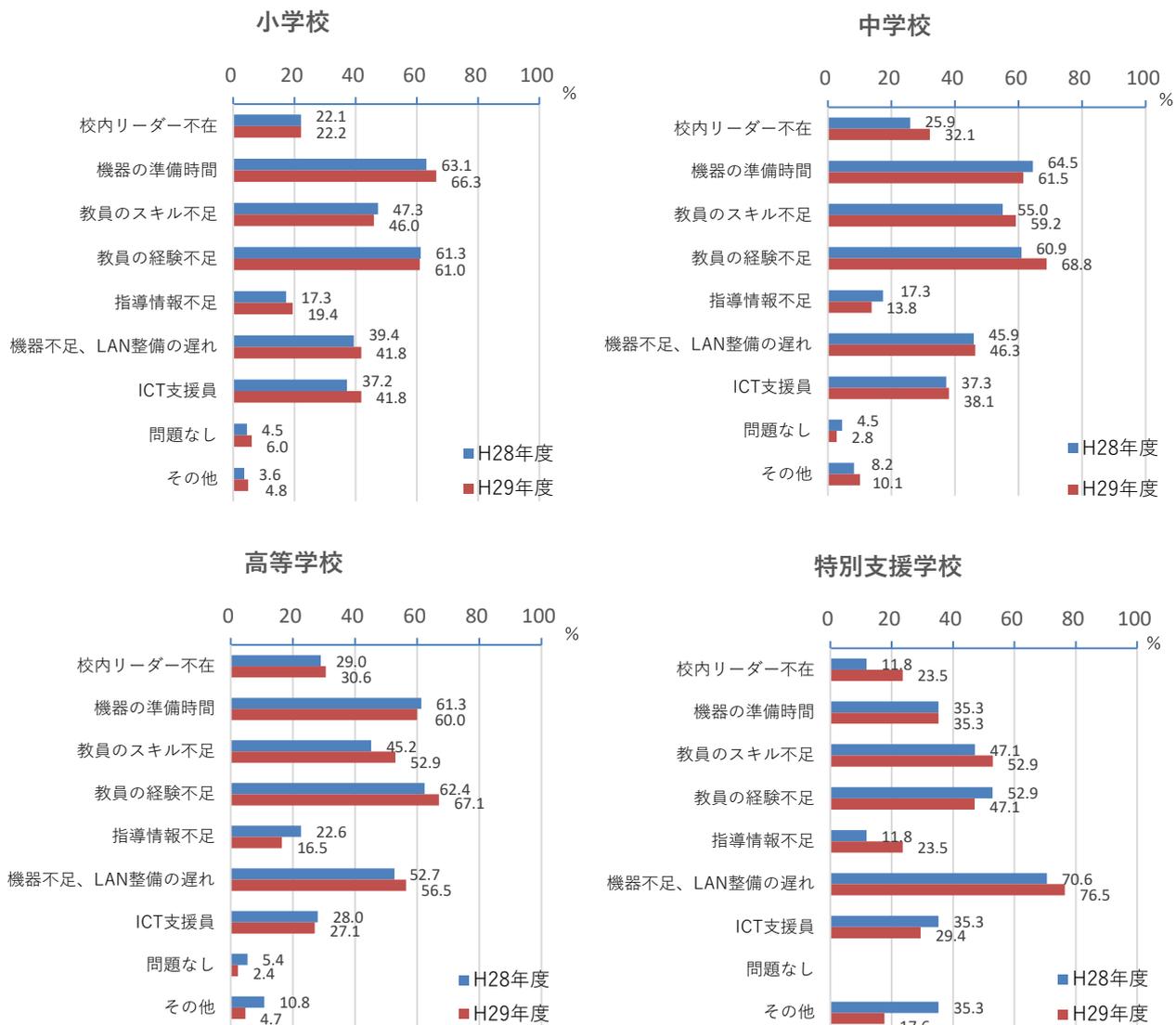


各種学校でネットワーク回線の配線が進んでいる。無線LANについても徐々に整備されてきている。

(5) ① 日頃の授業において、ICT機器・教具を活用する際の課題はどのようなことですか。(複数回答可)

- ア 校内リーダーの不在
- イ 機器の準備に時間がかかる
- ウ 教員のコンピュータ操作のスキル不足
- エ 教員のコンピュータ活用に関する経験（慣れ）不足
- オ カリキュラムなど、指導情報の不足
- カ 機器の不足や校内LANの整備の遅れ
- キ ICT支援員がいない
- ク 特に問題はない
- ケ その他（授業におけるICT活用の課題となっていること、または改善提案）

② ①で「ケ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

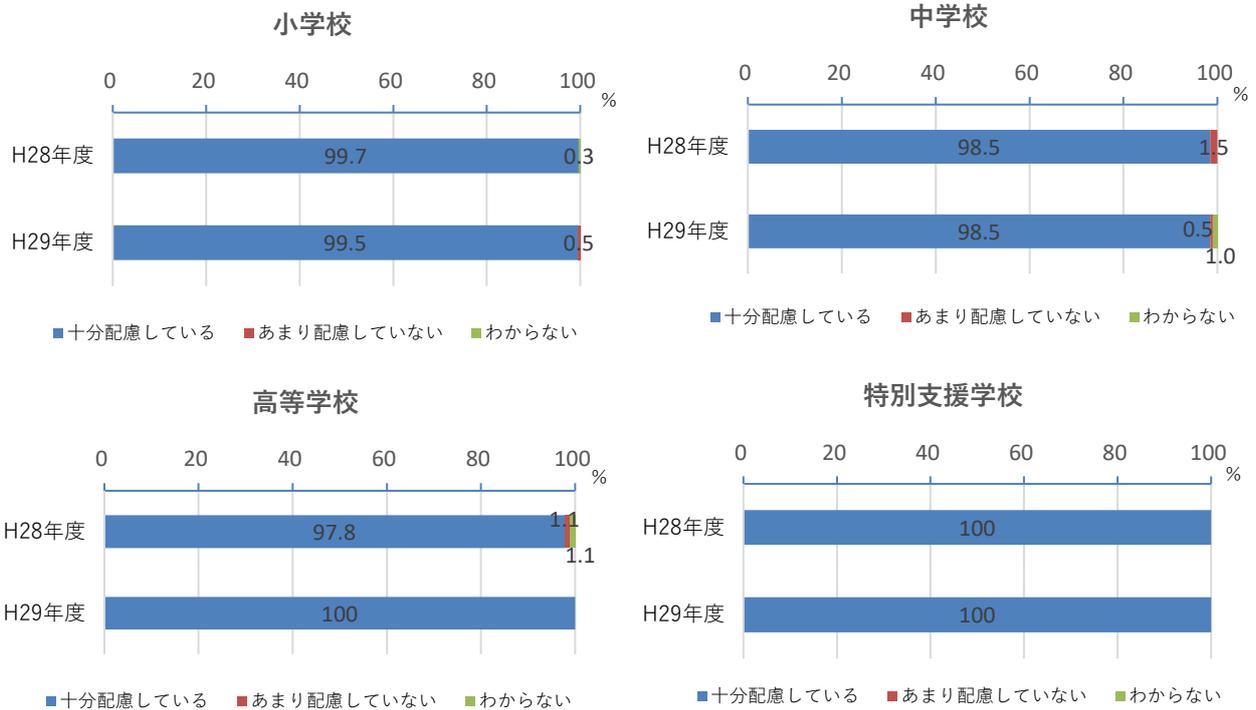


小学校、中学校では、「機器の準備時間」、「教員の経験不足」、「教員のスキル不足」が課題となっている。これに加えて高等学校、特別支援学校では、「機器不足、LAN整備の遅れ」が課題となっている。

「ケ その他」の主な記述事項

- ・回線速度が遅く、機器の活用に支障をきたす（12校）
- ・機器の老朽化に伴う不具合と対応（9校）
- ・無線LAN環境の整備（7校）
- ・デジタル教科書等、ICTソフトの充実（6校）

(5) (1)で「ア はい」を選択した学校のみ、お答えください。
 学校Webサイトを作成する場合、個人情報や著作権肖像権等に配慮していますか。
 ア 十分配慮している イ あまり配慮していない ウ わからない



ほぼ全ての学校が個人情報や著作権・肖像権に配慮している。

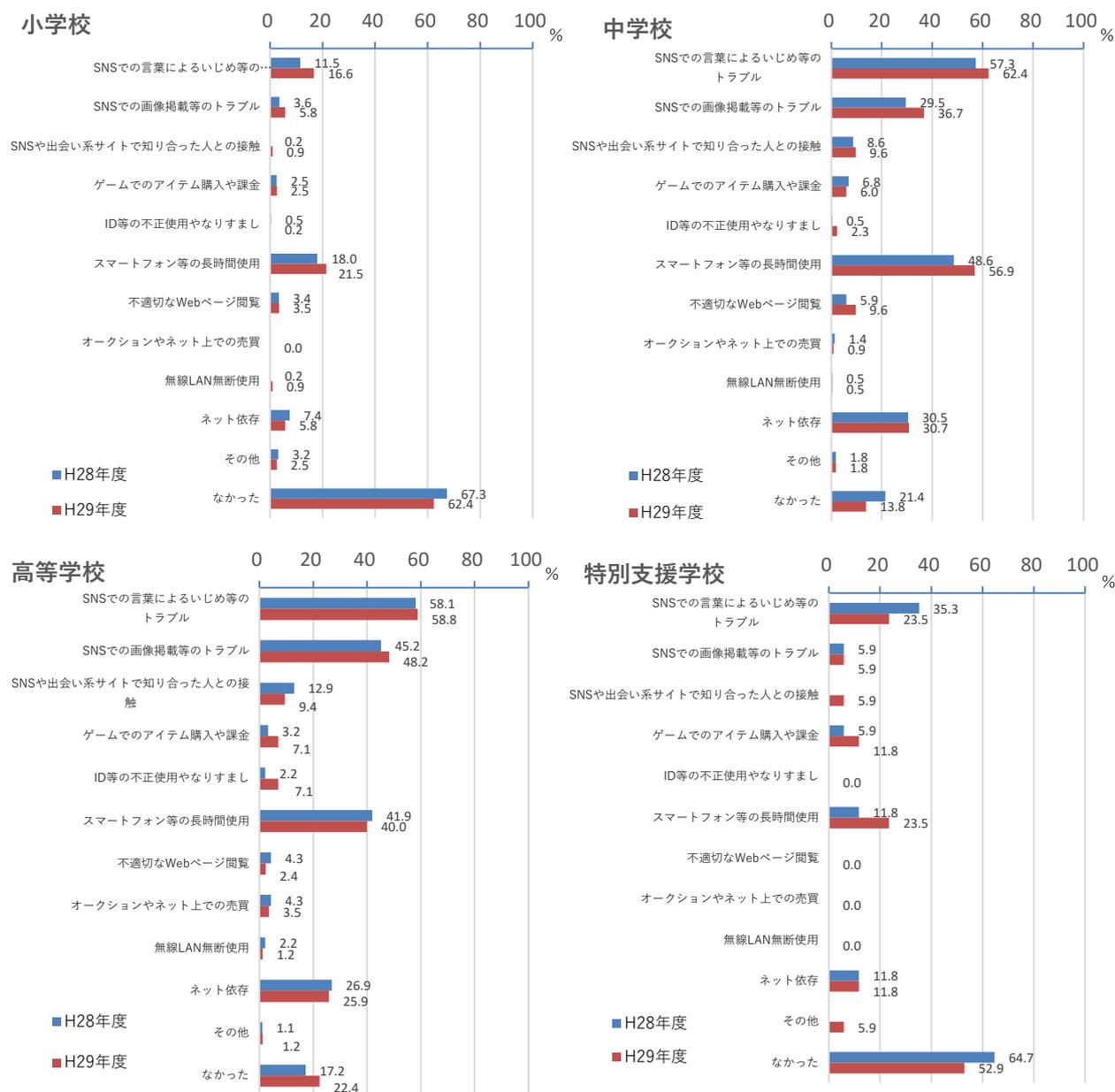
(6) (1)で「ア はい」を選択した学校のみ、お答えください。
 平成28年度、学校Webサイトを公開して困ったことがあった場合、その内容を記述してください。
 記述の主な内容は、以下のとおりである。

- ・Webサイトの更新作業に時間がかかり、思うような更新ができない (12校)
- ・Webサイトの更新できる教員が少なく、負担が多い (10校)
- ・画像の無断転用 (2校)
- ・Webサイトに掲載する際の肖像権の確認に手間がかかる (2校)

(2)① 平成28年度，児童生徒がスマートフォン等でのインターネット利用において，どのような問題が発生しましたか。（複数回答可）

- ア SNS (LINEやTwitterなど) での言葉によるいじめ等のトラブル
- イ SNS (LINEやTwitterなど) での画像掲載等のトラブル
- ウ SNS (LINEやTwitterなど) や出会い系サイトで知り合った人との接触
- エ ゲームでのアイテム購入や課金
- オ ID等の不正使用やなりすまし
- カ スマートフォン等の長時間使用
- キ 不適切なWebページ閲覧
- ク オークションやネット上での売買
- ケ 無線LAN無断使用
- コ ネット依存
- サ その他
- シ なかった

② ①で「サ その他」を選択した学校は，その内容をお書きください。



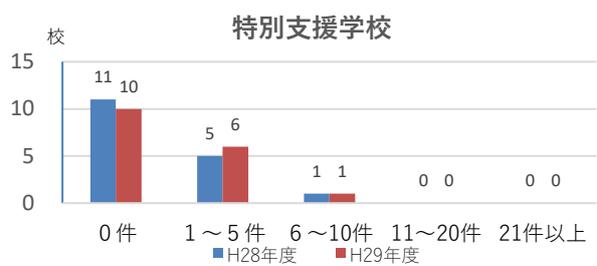
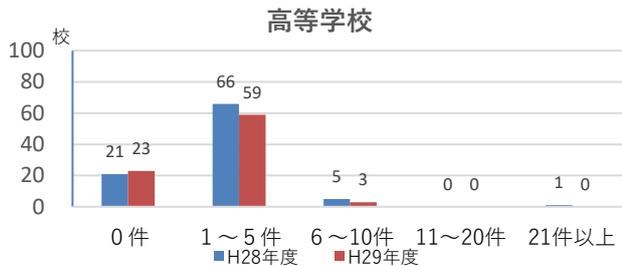
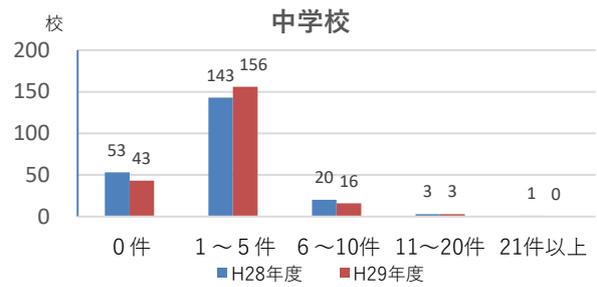
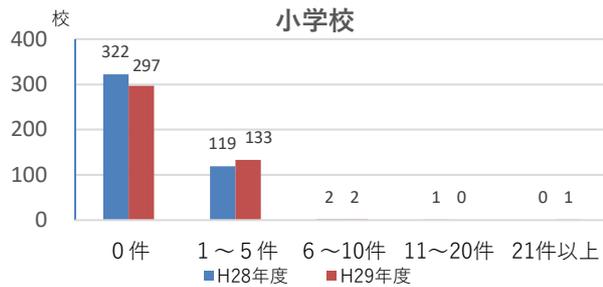
主なトラブルは，「SNSでの言葉によるいじめ等のトラブル」，「SNSでの画像掲載等のトラブル」，「スマートフォン等の長時間利用」，「ネット依存」があったと回答している割合が高い。特に，「SNSでの言葉によるいじめ等のトラブル」があったと回答した中学校，高等学校は半数を超えている。小学校におけるSNSに関するトラブルも増加傾向にあり，SNSによるいじめ等のトラブルが低年齢化している傾向がある。

「サ その他」を選択した主な理由は以下のとおりである。

- ・動画サイトへのアップロードによるトラブル（4校）
- ・LINEによるトラブル（4校）
- ・オンラインゲーム上でのトラブル（2校）

(2)③ 平成28年度発生した問題について、把握している件数をお答えください。

ア 0件 イ 1～5件 ウ 6～10件 エ 11～20件 オ 21件以上

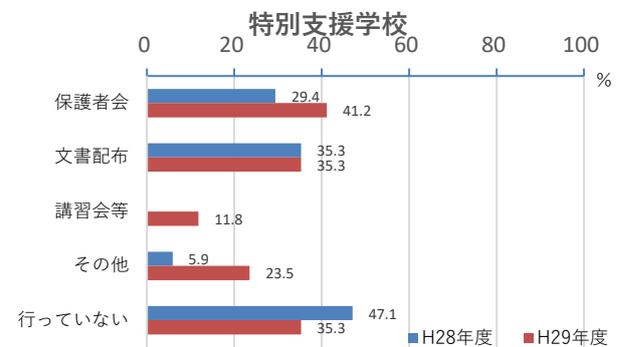
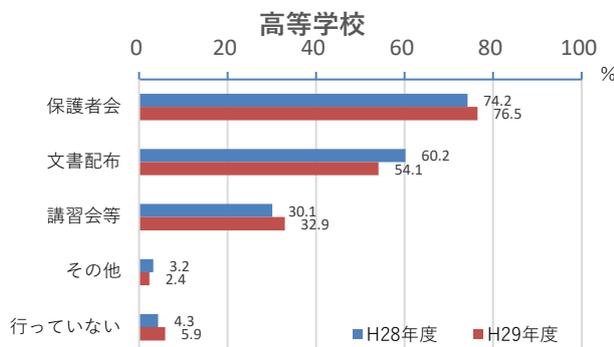
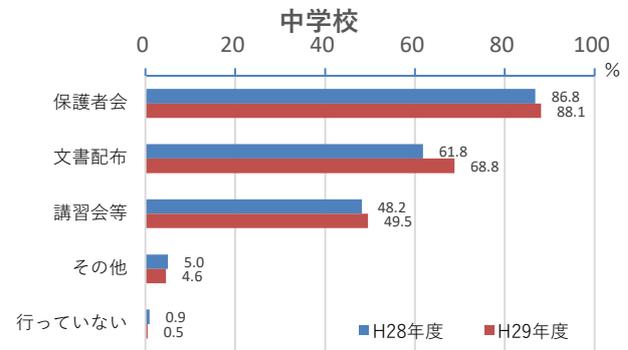
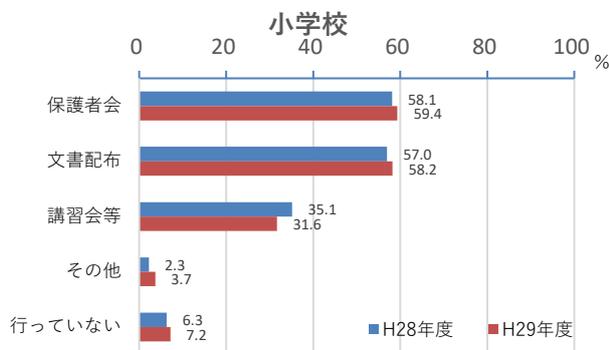


スマートフォン等による問題が発生している学校は、小学校が31.4%、中学校が80.3%、高等学校が72.9%、特別支援学校が41.2%であり、特に中学校、高等学校が多い。把握している件数は、全校種とも「1～5件」がほとんどである。小学校、中学校で問題の件数が増加傾向である。

(3)① 平成28年度、スマートフォン等の指導について保護者とどのように連携を図りましたか。

(複数回答可)

- ア 保護者会等で説明した イ 必要に応じて文書を配付した
 ウ 講演会や学習会等を開催した エ その他 オ 特に行っていない
 ② ①で「エ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。



全校種で、保護者会や文書配布を通して保護者との連携を図っている。中学校、高等学校、特別支援学校では「講演会や学習会を開催した」と回答した学校が増加している。特別支援学校では約35%が特に行っていないと回答している。

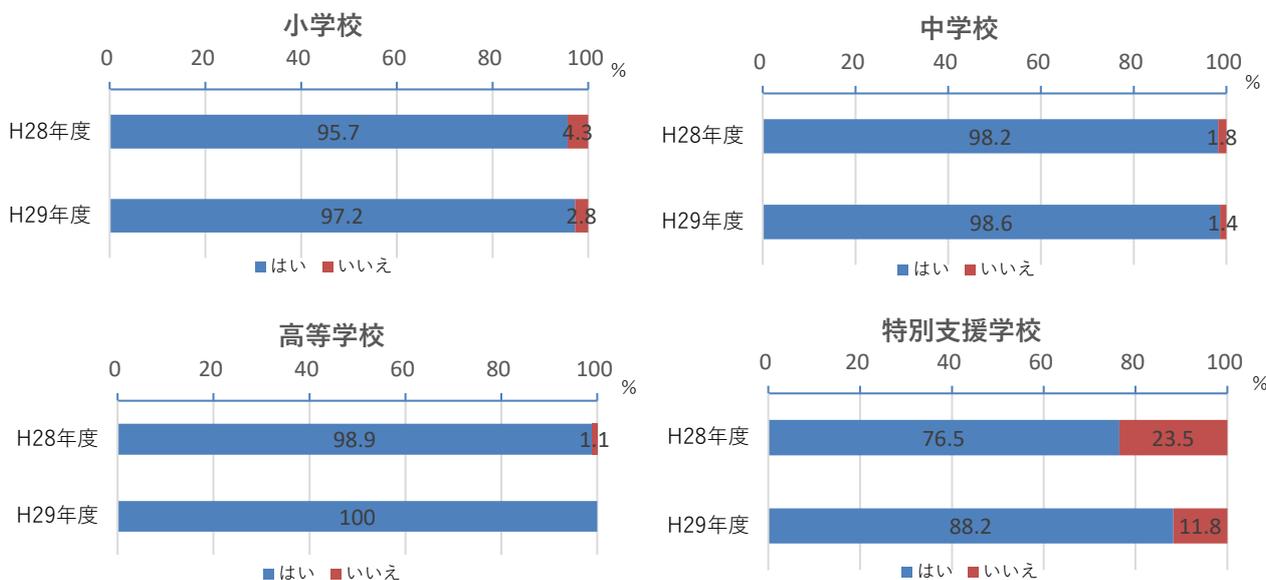
「エ その他」の主な記述は以下の通りである。

- ・個別に教育相談等を実施した (12校)
- ・ノーメディアデーを設けた (5校)
- ・学年、学級懇談会で説明した (4校)

(4)① 青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律において、保護者は児童生徒に対し、フィルタリングソフトウェアの利用その他の方法によりインターネットの利用を適切に管理しなければならないことを知っていますか。

ア はい

イ いいえ

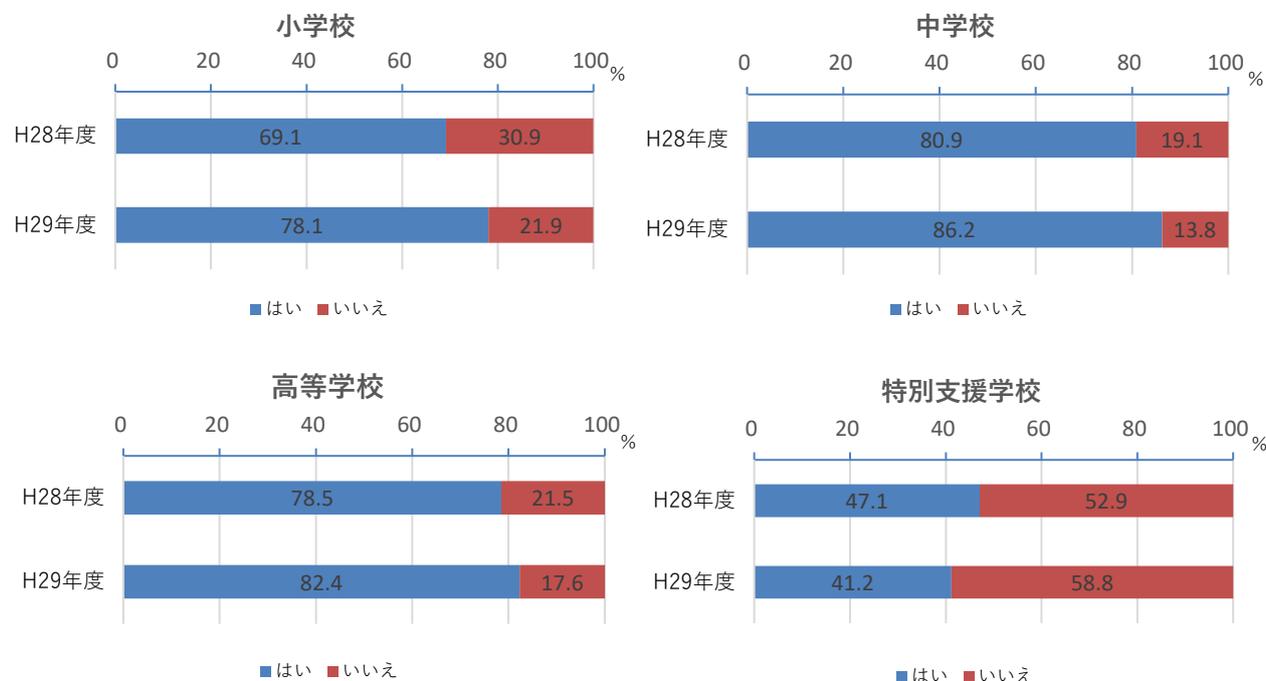


小学校、中学校、高等学校で97%を超える学校が知っていると回答している。特別支援学校でも前年度より約12%増加し、約88%となっている。

(4)② 保護者に対し、上記の法律について周知していますか。

ア はい

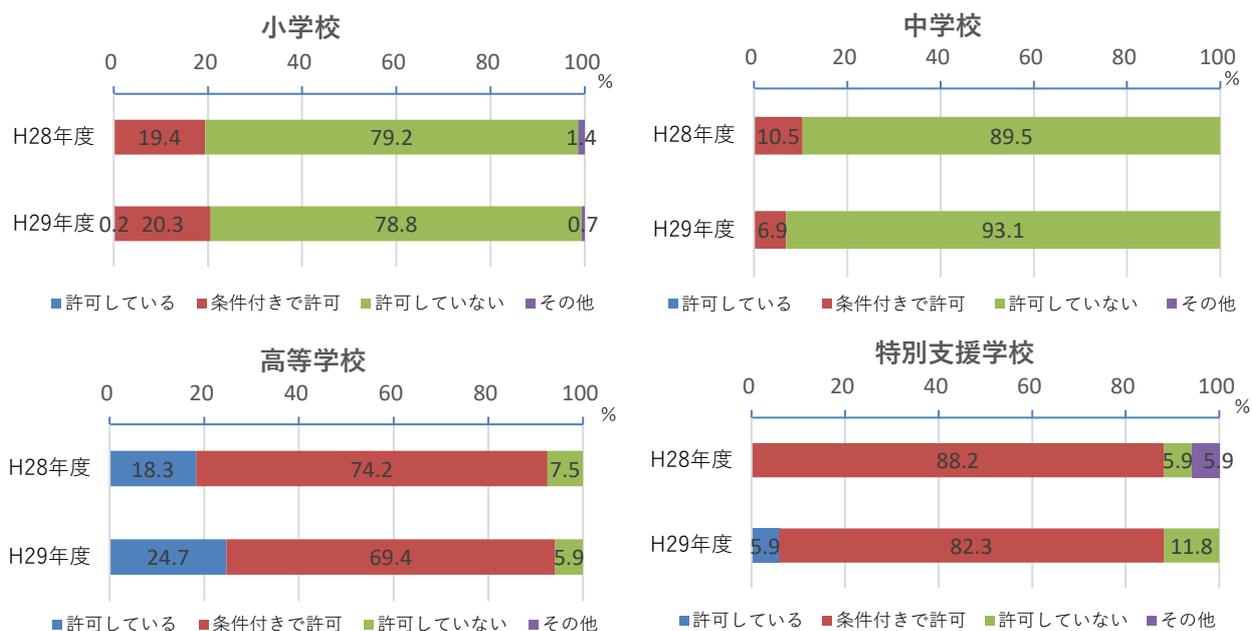
イ いいえ



保護者へ周知していると回答した学校は、小学校が約78%、中学校が約86%、高等学校が約82%、特別支援学校が約41%である。

(5) 学校へのスマートフォン等の持ち込みを許可していますか。

ア 許可している イ 条件付きで許可している ウ 許可していない エ その他



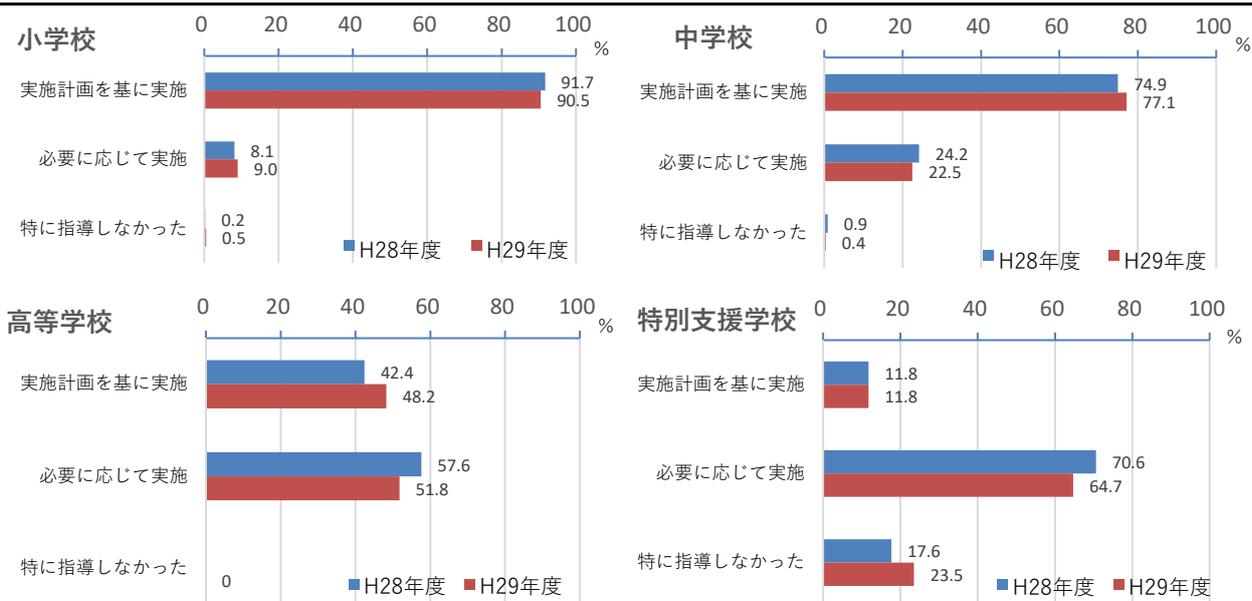
「許可している」、「条件付きで許可している」と回答した小学校が約20%、中学校が約7%であり、多くの小学校、中学校は持ち込みを許可していない。高等学校、特別支援学校については、「許可している」、「条件付きで許可している」と回答した学校はそれぞれ、約94%、約88%であり、何らかの形で許可している学校が多い。

4 情報モラルについて

(1) ① 平成28年度、児童生徒に対する情報モラル教育にはどのように取り組みましたか。

※ 参考例として、国立教育政策研究所のWebサイトに「情報モラル指導カリキュラムチェックリスト」が示されています。

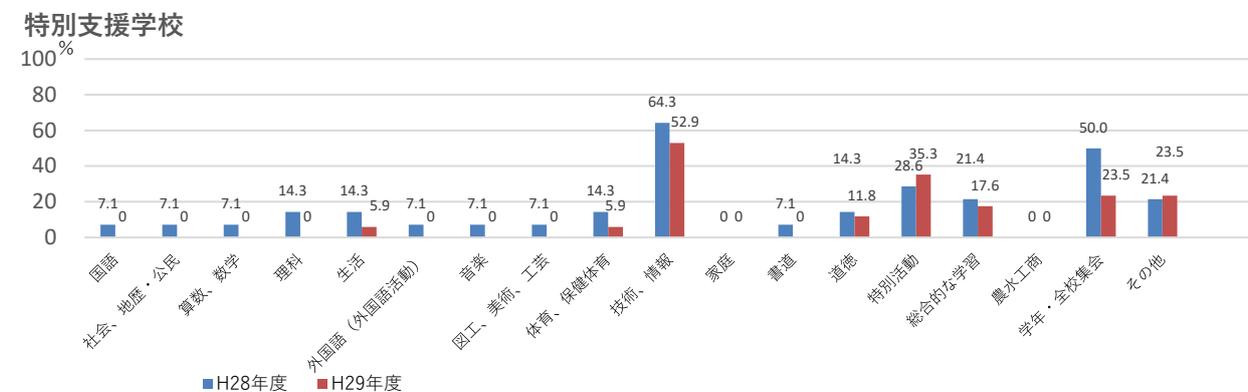
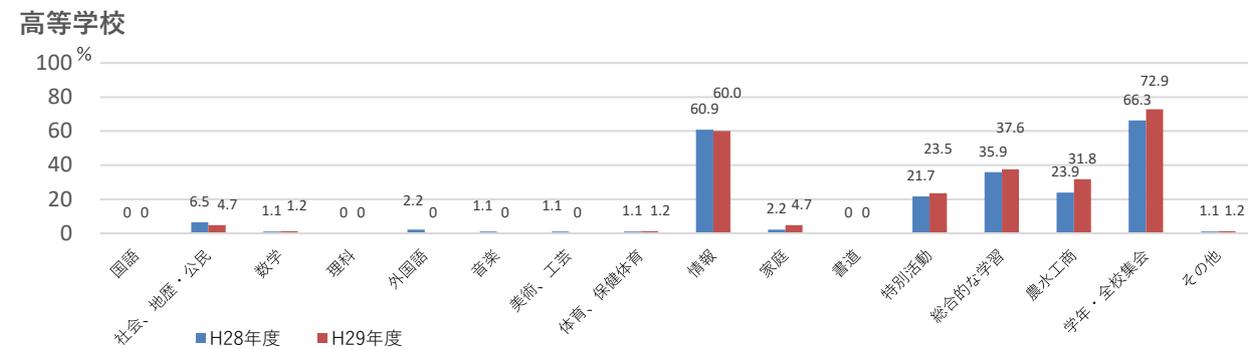
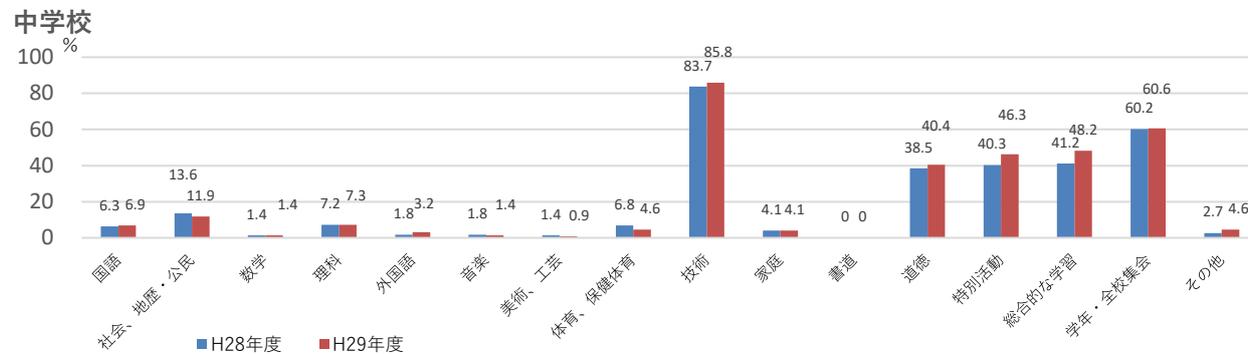
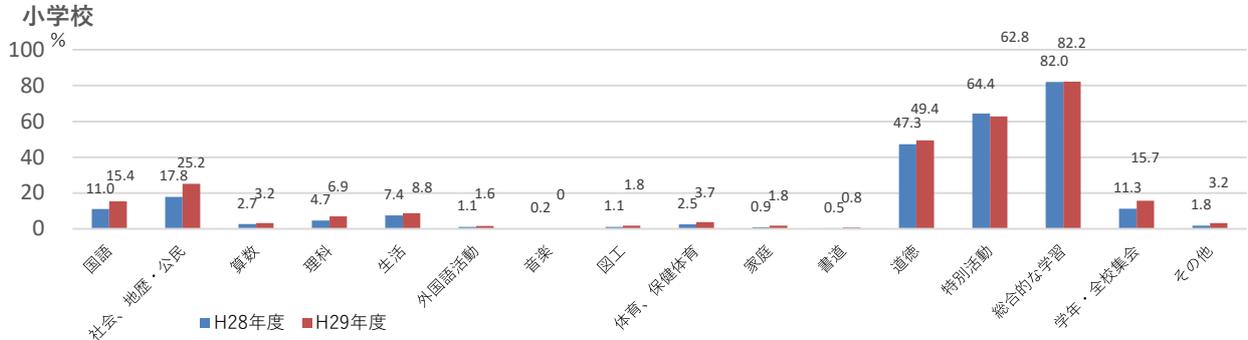
ア 指導計画を基に、計画的に指導した イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した
ウ 特に指導していない



小学校、中学校においては「指導計画を基に、計画的に指導」が最も多い。高等学校では「指導計画を基に、計画的に指導」と「指導計画はないが、必要に応じて指導」が同程度である。特別支援学校は「指導計画はないが、必要に応じて指導」が最も多い。

(1)② ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」、「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、どの時間に指導しましたか。(複数回答可)

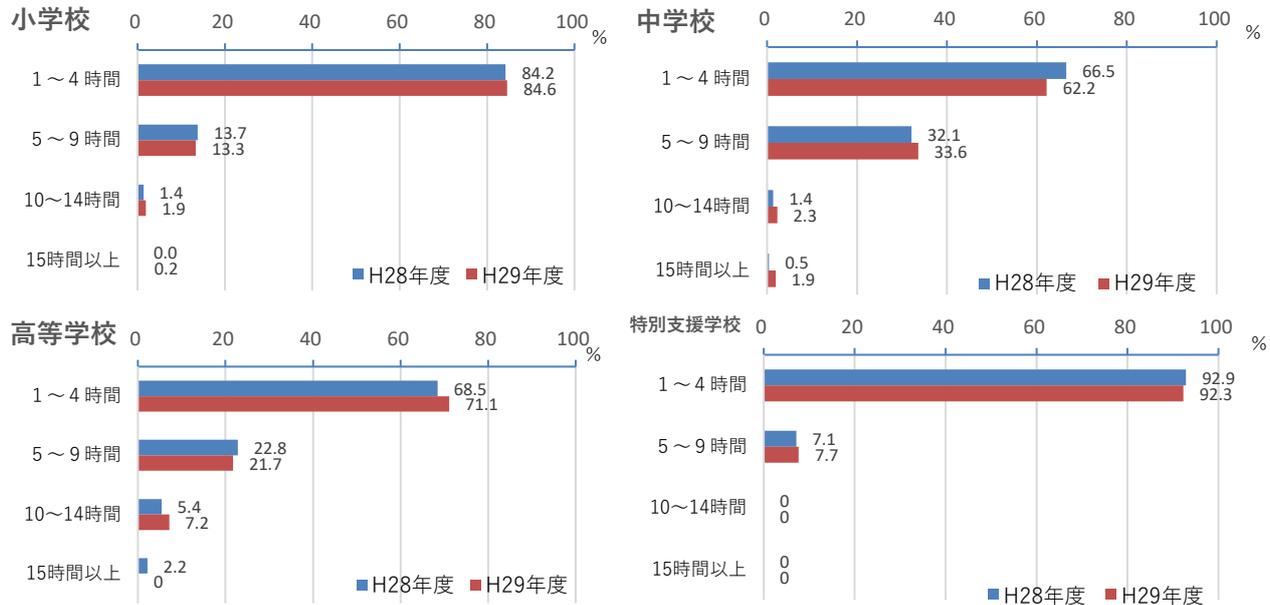
ア 国語	イ 社会、地理歴史・公民	ウ 算数、数学	エ 理科
オ 生活	カ 外国語 (外国語活動)	キ 音楽	ク 図画工作、美術、工芸
ケ 体育、保健体育	コ 技術、情報	サ 家庭	シ 書道
ス 道徳	セ 特別活動	ソ 総合的な学習の時間	
タ 農業・水産・工業・商業・福祉・看護等の専門教科	チ 学年・全校の集会等	ツ その他	



全校種共通して「特別活動」、「総合的な学習の時間」での指導が多い。加えて小学校では「道徳」、中学校では「技術」、「道徳」、「学年・全校集会等」、高等学校では「情報」、「専門科目」、「学年・全校集会等」での指導が多い。特別支援学校では「技術、情報」での指導が多い。

(1)③ ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」、「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、平成28年度は何単位時間程度取り組みましたか。(学年によって違いがありますが、平均した数値でお答えください。)

ア 1～4時間 イ 5～9時間 ウ 10～14時間 エ 15時間以上

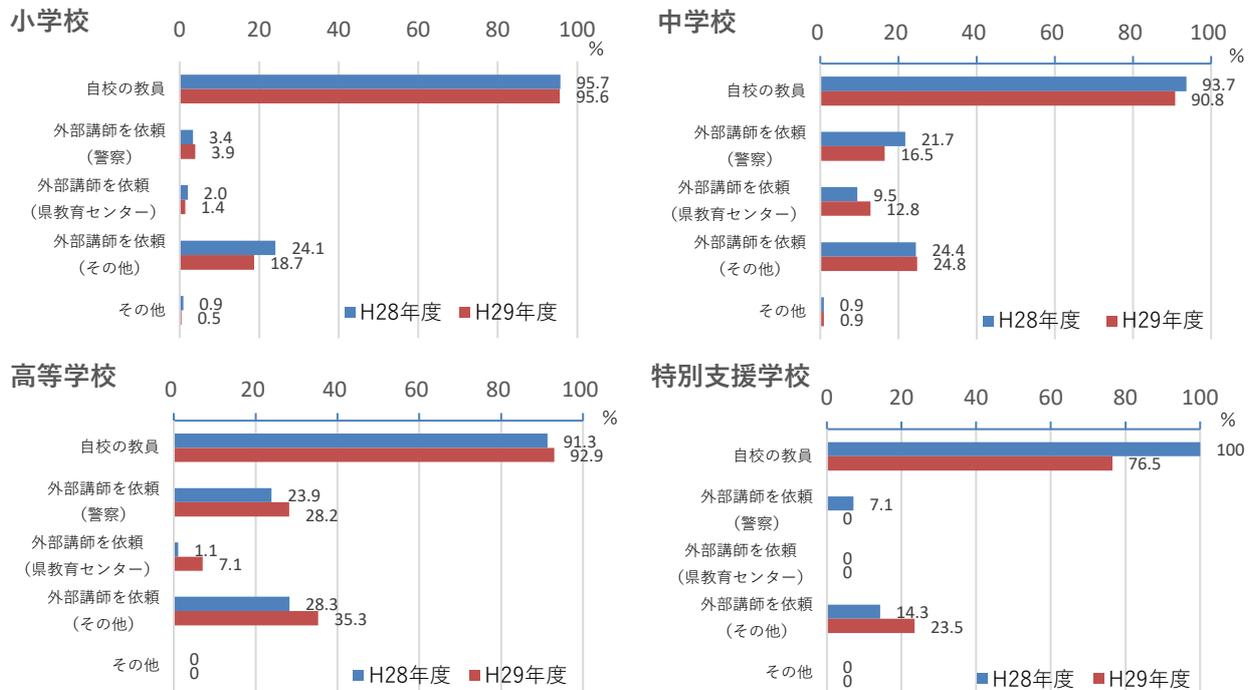


前年度と同様に、情報モラルの指導時間は全校種ともに「1～4時間」が最も多い。

(1)④ ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」、「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、誰が指導しましたか。(複数回答可)

ア 自校の教員 イ 外部講師を依頼 (警察)
ウ 外部講師を依頼 (県教育センター) エ 外部講師を依頼 (その他) オ その他

⑤ ④で「エ 外部講師を依頼 (その他)」、「オ その他」を選択した学校は、誰に依頼したかをお書きください。



全校種において「自校の教員」が情報モラル教育を行ったケースが多く、8割から9割になる。「外部講師」を依頼した情報モラルの指導は、小学校、中学校、特別支援学校で2～5割程度、高等学校で約7割となっている。

(2) 情報モラルを指導する際、教えづらい内容やわかりにくい用語等があればお書きください。

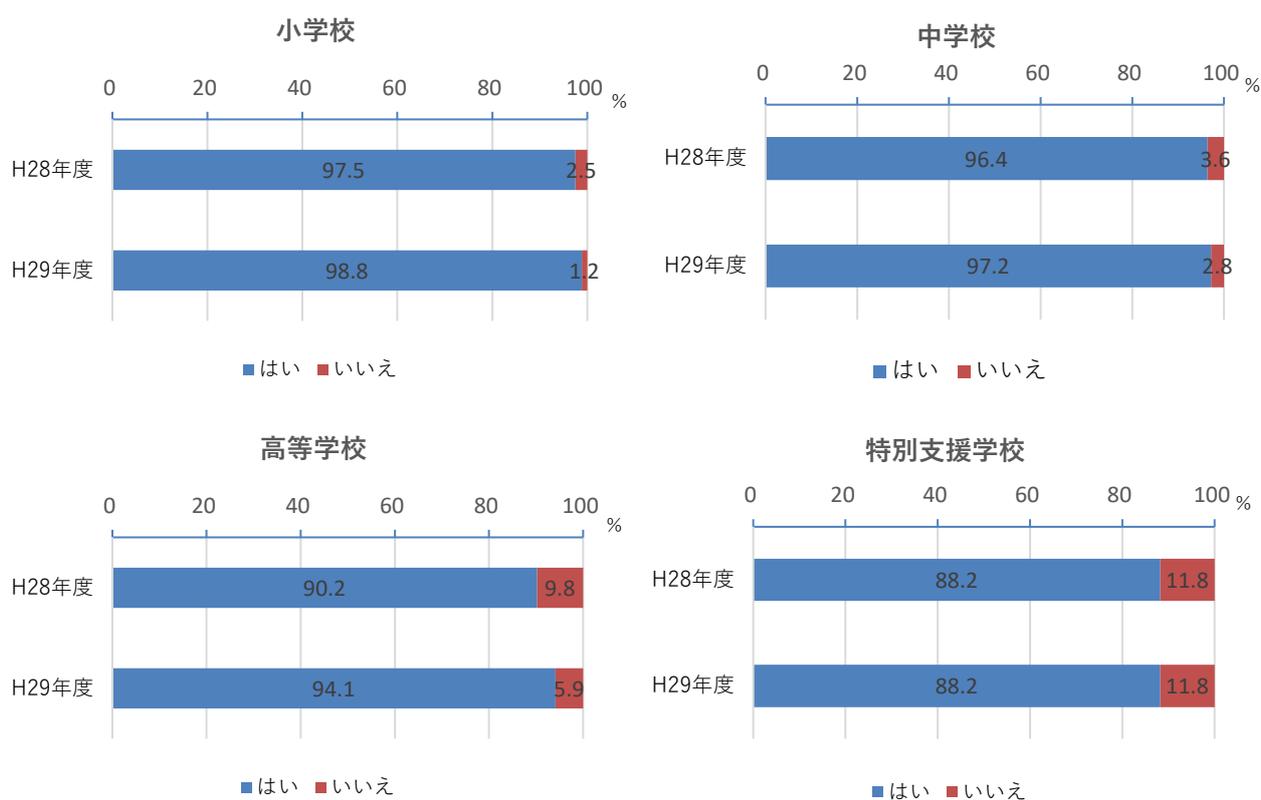
主な記述については、以下のとおりである。

- ・新しい言葉（SNS，インスタグラム等）（23校）
- ・著作権・肖像権（14校）
- ・個人情報保護，情報セキュリティ（8校）
- ・被害の実例，事例とトラブル（5校）

(3) 情報モラルの指導をする際、指導案やワークシートの例があったら活用しますか。

ア はい

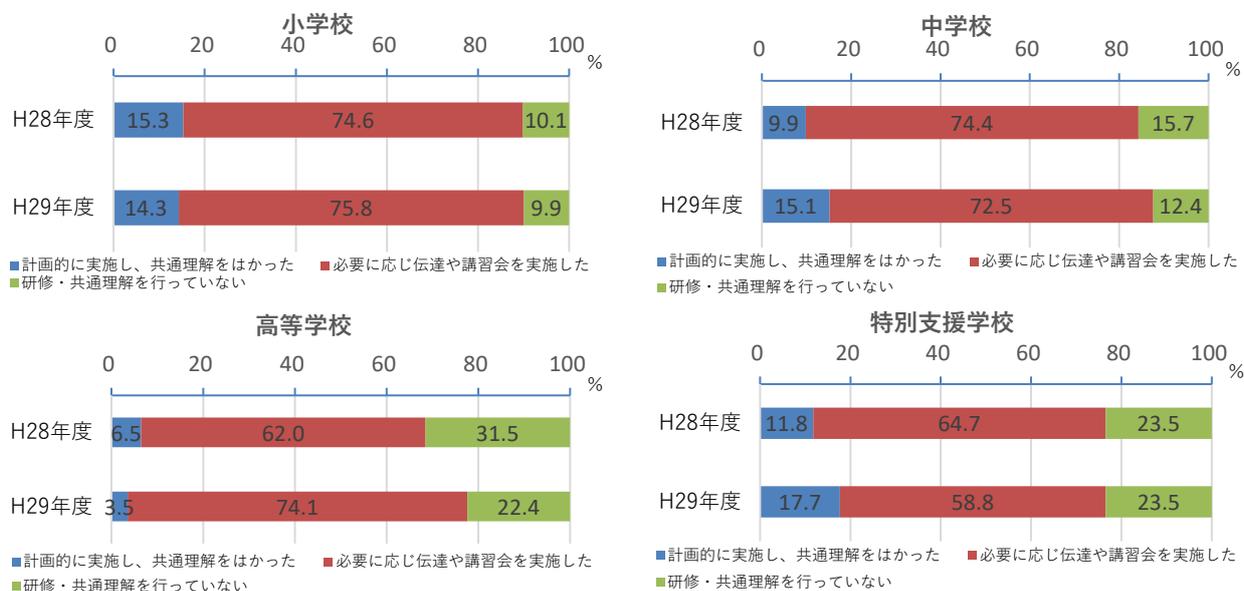
イ いいえ



全校種とも、9割程度の学校が、活用したいと考えている。

(4)① 平成28年度の情報モラルに関する校内研修についてお答えください。

- ア 教職員対象の校内研修を計画的に行い、共通理解を図った
- イ 教職員に対する研修計画はなかったが、必要に応じて情報を伝達したり、講習会を行ったりした
- ウ 教職員には特に研修・共通理解等を行ってはいない



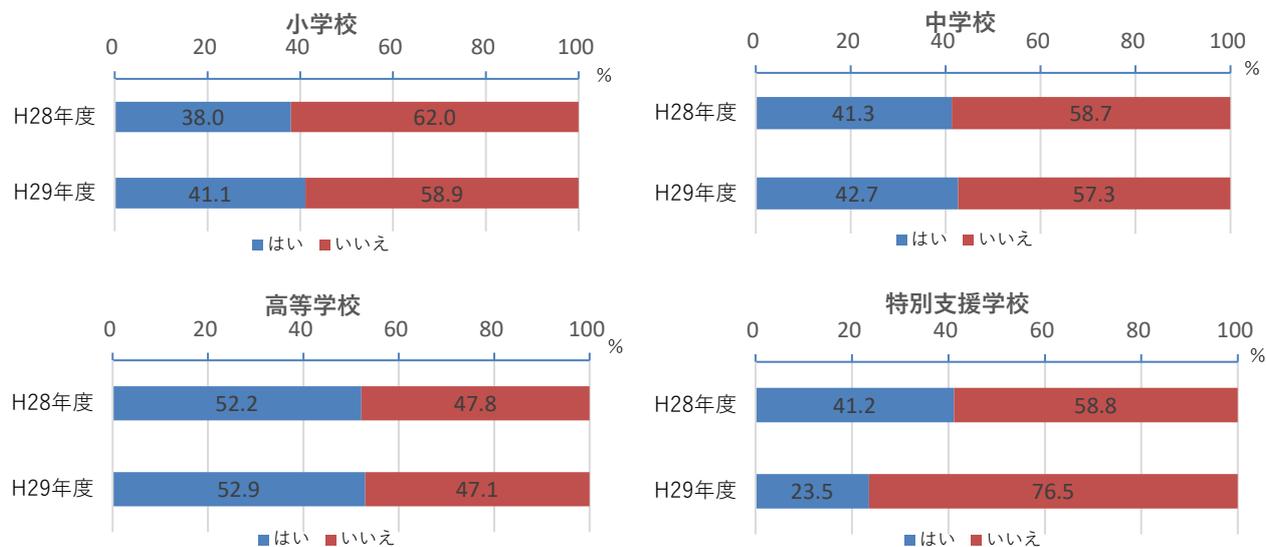
全校種において、「必要に応じて情報を伝達したり、講習会を行ったりした」が多く、必要に応じて校内研修が実施されている様子が見えてくる。

(4)② 情報モラルの研修を行うにあたり、どのような研修が必要だとお考えですか。また、どのような情報があると研修に活用できますか。特にない場合は、「なし」とお書きください。

- 主な記述内容については、以下のとおりである。
- ・最近の話題やトラブル事例、被害にあった時の対処について (179校)
 - ・教員対象のSNS, LINEに関する研修 (62校)
 - ・校内研修用情報モラル資料、事例集 (49校)
 - ・子どもへの発達段階に応じた指導資料、事例集 (22校)
 - ・個人情報の扱い方、セキュリティに関する基礎知識 (12校)

(5)① 該当市町村または各校独自のスマートフォン等に関するルール等がありますか。

- ア はい
- イ いいえ



当該市町村または各校独自のスマートフォンに関するルールを定めている学校は、全校種とも半数程度である。

(5)② ①で「ア はい」と選択した学校は、具体的な内容をお書きください。

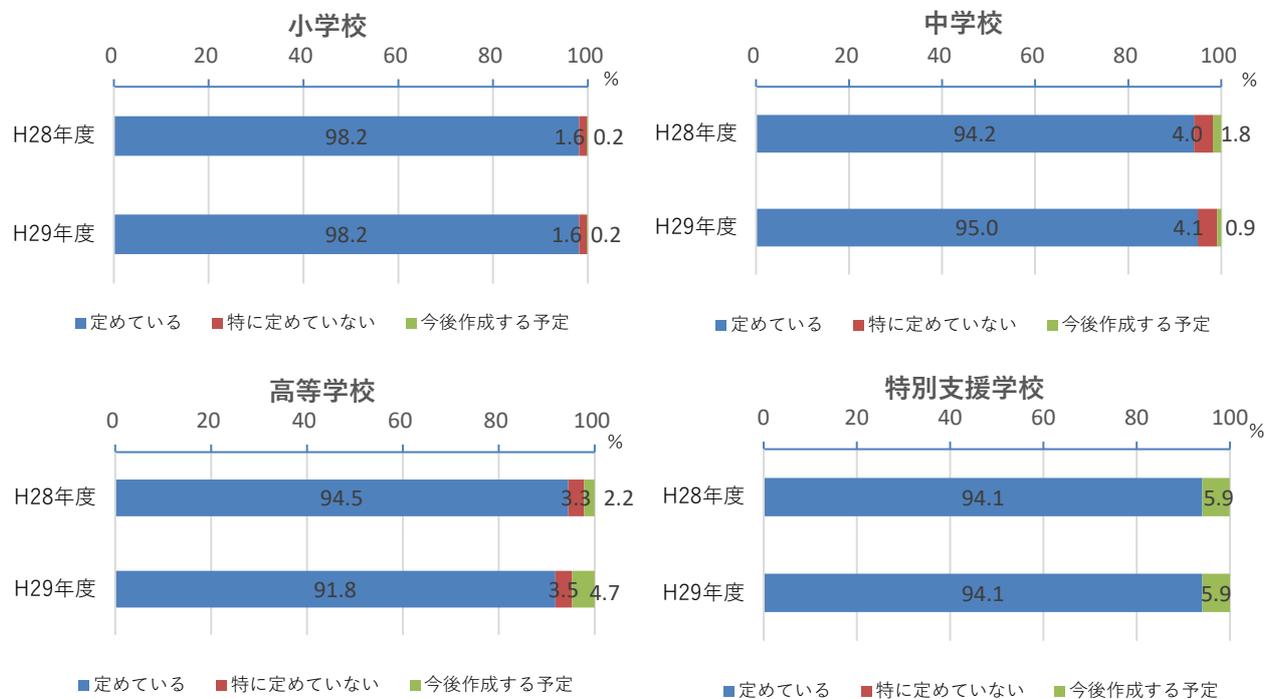
- ・校内持ち込み禁止 (106校)
- ・校内では電源を切る (高等学校) (47校)
- ・使用時間の制限 (44校)
- ・保護者の協力要請, 家庭のルールづくり (35校)
- ・ノーメディアデーを設ける (19校)

5 個人情報保護及び情報セキュリティについて

※ ここでいう個人情報とは、紙や電子データとして記録された、児童生徒や保護者及び教職員に関する氏名や生年月日、その他の個人を識別することができる情報のことです。また、直接、個人が識別できなくとも他の情報と照合することで個人を識別できる情報も含まれます。（「福島県個人情報保護条例第二条一項」に規定）

(1)① 平成28年度末において、個人情報を保護するために校内規定を定めていますか。

ア 定めている イ 特に定めていない ウ 現在は定めていないが、今後作成する予定

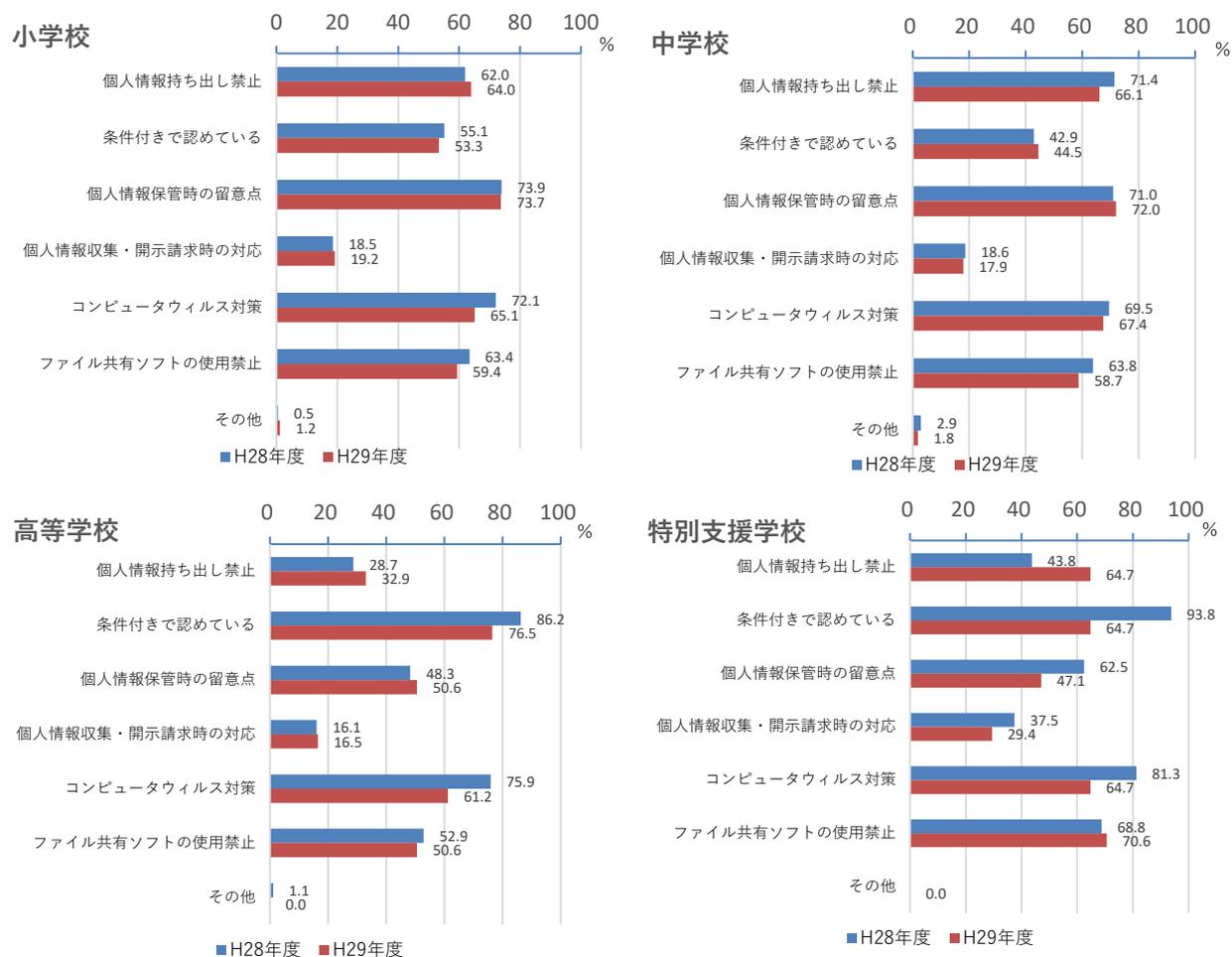


全校種のほぼすべての学校で、個人情報保護に関する校内規定が定められている。

(1)② ①で「ア 定めている」を選択した学校は、主に規定している内容をお答えください。(複数回答可)

- ア 個人情報の持ち出しを禁止している
- イ 条件付き(管理職の許可やセキュリティ対策実施済み等)で個人情報の持ち出しを認めている
- ウ 個人情報を保管するときの留意点
- エ 個人情報を収集するときや開示請求があったときの対応
- オ コンピュータウイルス対策(セキュリティソフトの導入や、個人や外部のコンピュータ等との接続等)
- カ ファイル共有ソフト(WinnyやShare, BitTorrent等)の使用禁止
- キ その他

③ ②で「キ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。



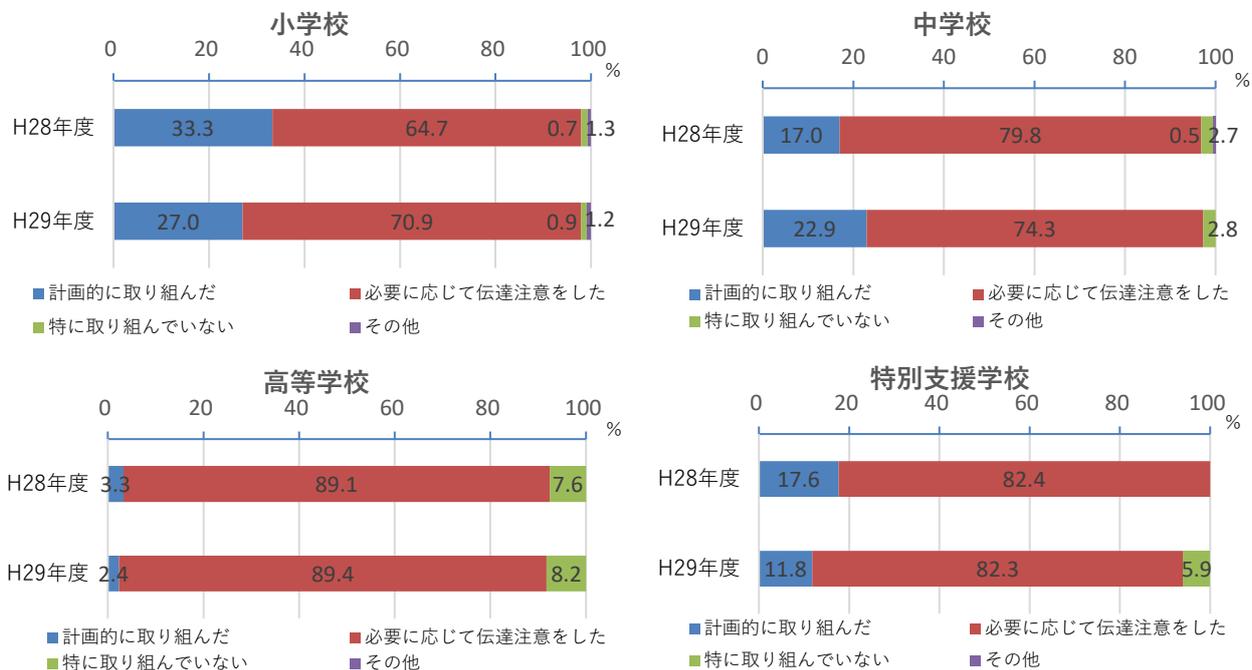
「個人情報の持ち出しを禁止」としている学校は小学校で約64%、中学校で約66%、高等学校で約33%、特別支援学校で約65%である。また、高等学校、特別支援学校では「条件付きで個人情報の持ち出しを認めている」はそれぞれ76.5%、64.7%となっている。

「個人情報の開示請求への対応」は、小学校、中学校、高等学校で約18%程度、特別支援学校で約30%程度である。

「キ その他」の主な記述は以下のとおりである。

- ・ドライブ機能を使い、電子媒体を持ち出さない
- ・私有PCの持ち込み禁止
- ・私有ソフトウェアインストール禁止
- ・町全体で研修を行っている
- ・情報資産リスト重要区分表、情報資産取扱ガイドライン、個人情報に係る事件・事故発生時の対応マニュアル

(2)① 平成28年度，個人情報保護に関して，校内でどのように取り組みましたか。
 ア 校内研修等を通して，計画的に取り組んだ
 イ 校内研修等を行っていないが，必要に応じて情報を伝達したり，注意を促したりした
 ウ 特に取り組んでいない
 ② ①で「エ その他」を選択した学校は，その内容をお答えください。

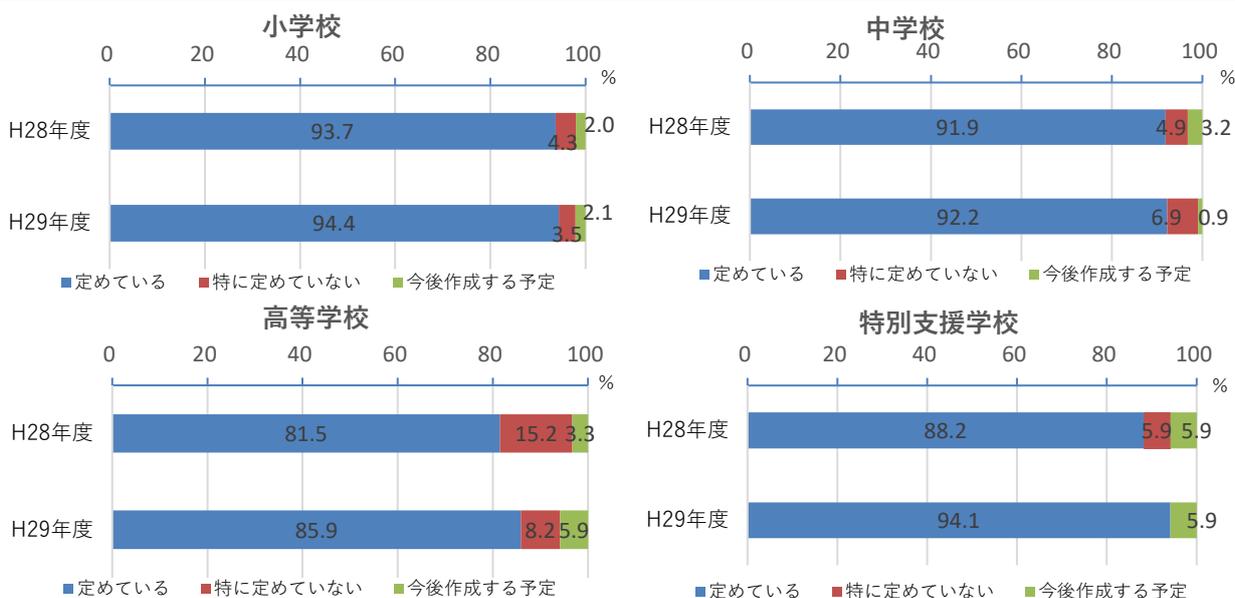


個人情報保護に関して，全校種で「校内研修等を行っていないが，必要に応じて情報を伝達したり，注意を促したりした」といった回答が約7割から9割である。

「エ その他」の主な記述は以下のとおりである。

- ・町全体で取り組んでいる
- ・職員会での情報共有，指導した
- ・服務倫理委員会で取り上げた

(3)① 平成28年度末において，情報セキュリティに関する校内運用規定を定めていますか。
 ア 定めている イ 特に定めていない ウ 現在は定めていないが，今後作成する予定

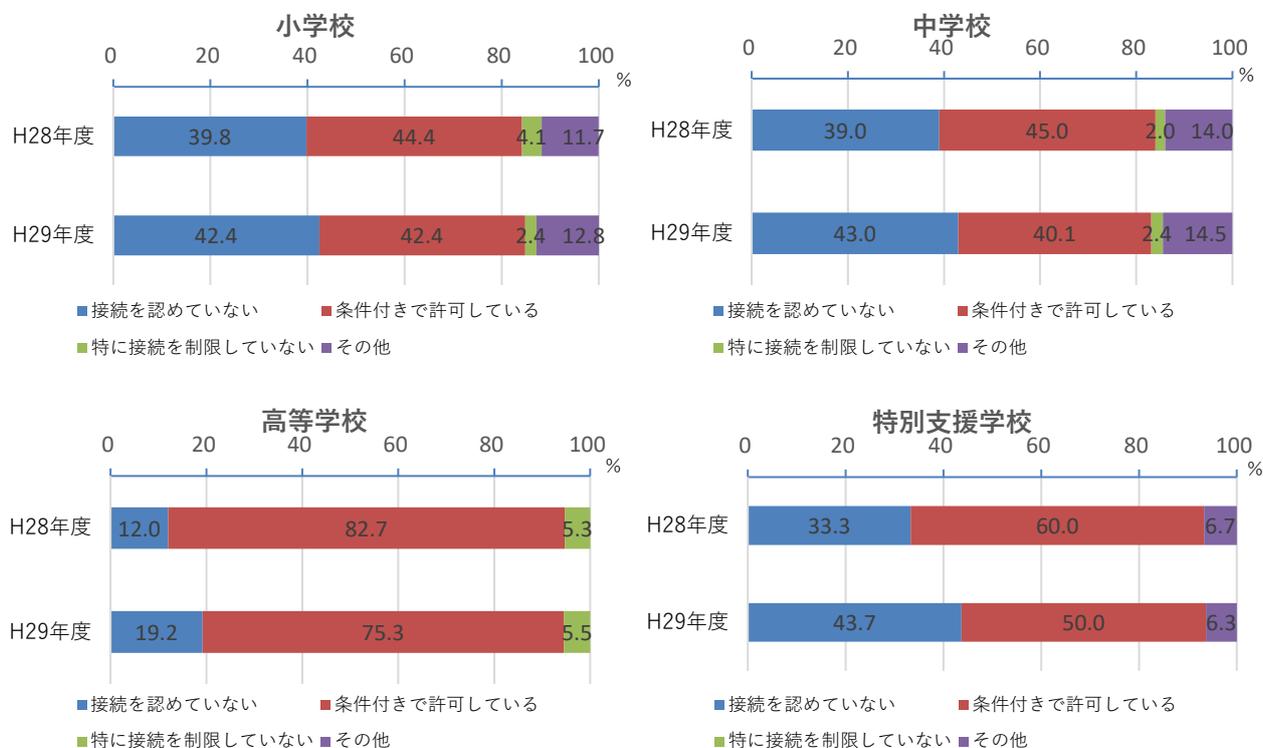


情報セキュリティに関する校内運用規定については，小学校，中学校，特別支援学校の90%以上の学校が，また高等学校の約86%が「定めている」と回答している。

(3)② ①で「ア 定めている」を選択した学校は、「私物パソコン」及び「USBメモリ等の記憶媒体」の校内ネットワークでの使用及び接続について、規定している内容をお答えください。

- ア セキュリティ対策上、接続を認めていない
- イ 条件付き（管理職の許可やセキュリティ対策実施済み等）で許可している
- ウ 特に接続を制限していない
- エ その他

③ ②で「エ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。



私物パソコン・USBメモリ等の接続については、小学校、中学校で「条件付きで接続を認めている」が約40%であるのに対し、高等学校では75.3%、特別支援学校では50.0%と開きがある。

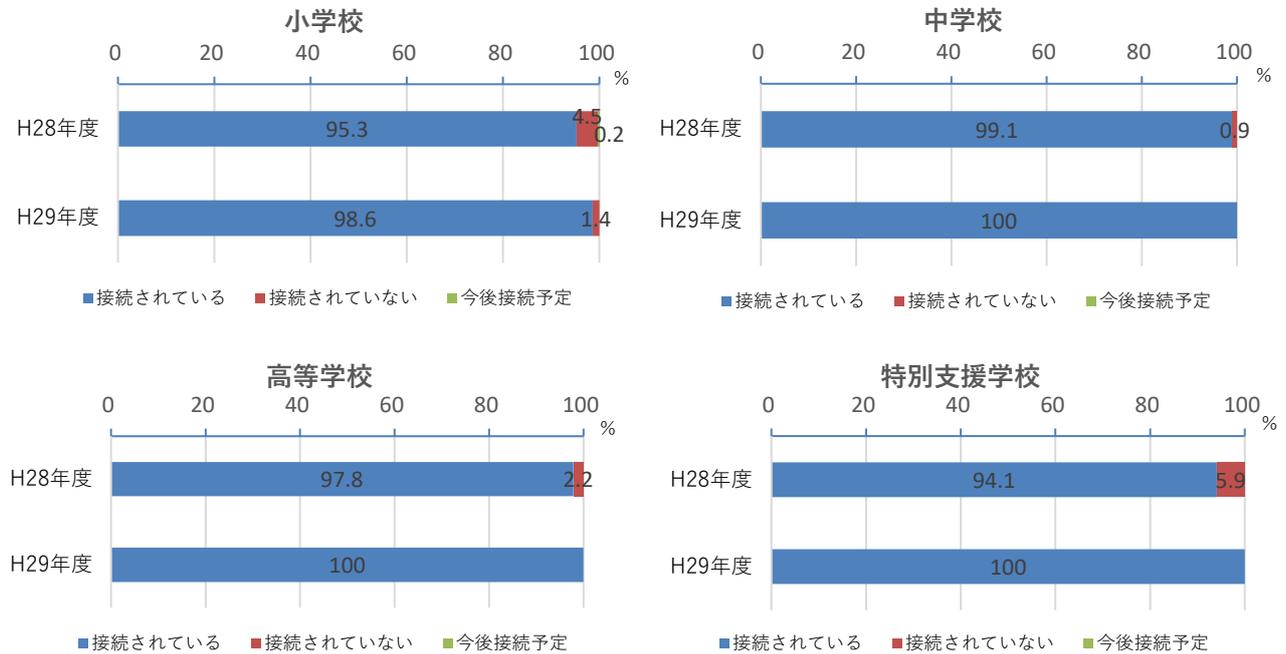
「エ その他」の主な記述は以下のとおりである。

- ・私物PCの持ち込みは禁止しているが、USBメモリの使用については特に制限していない。(71校)
- ・私物PCの持ち込みは禁止しているが、USBメモリの使用についてはウイルスチェックを行った後、使用可能としている。(10校)

6 教員用コンピュータの校内ネットワーク（LAN）環境について

(1)① 学校内で、教員用コンピュータはLAN接続されていますか。

ア 接続されている イ 接続されていない ウ 接続されていないが、接続予定



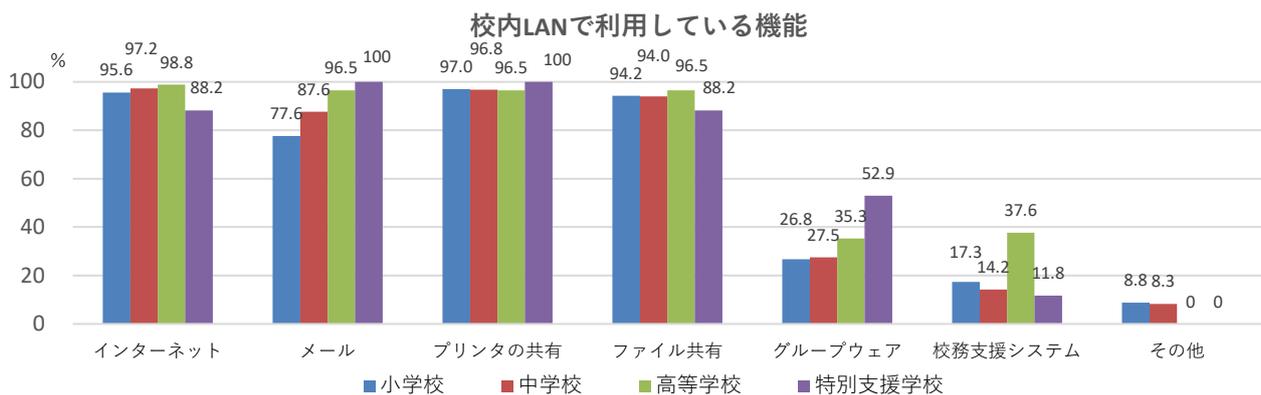
教員用コンピュータのLAN接続率については、小学校では約99%、中学校、高等学校、特別支援学校では100%となっている。

(1)② ①で「ア 接続されている」を選択した学校のみ、お答えください。

校内LANで利用している機能をお答えください。（複数回答可）

ア インターネット イ メール ウ プリンタの共有 エ ファイル共有
 オ グループウェア（校内掲示板等） カ 校務支援システム キ その他

③ ②で「キ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。



校内LANにおいて使用している機能では、全校種ともに「インターネット」、「プリンタの共有」、「ファイル共有」が多い。小学校、中学校において「メール」機能があまり利用されていないのは、メールアドレスの配付状況が各自治体によって異なるためと考えられる。また、特別支援学校では他校種と比較して「グループウェア」の活用が多く、高等学校では校務支援システムの利用が多い。

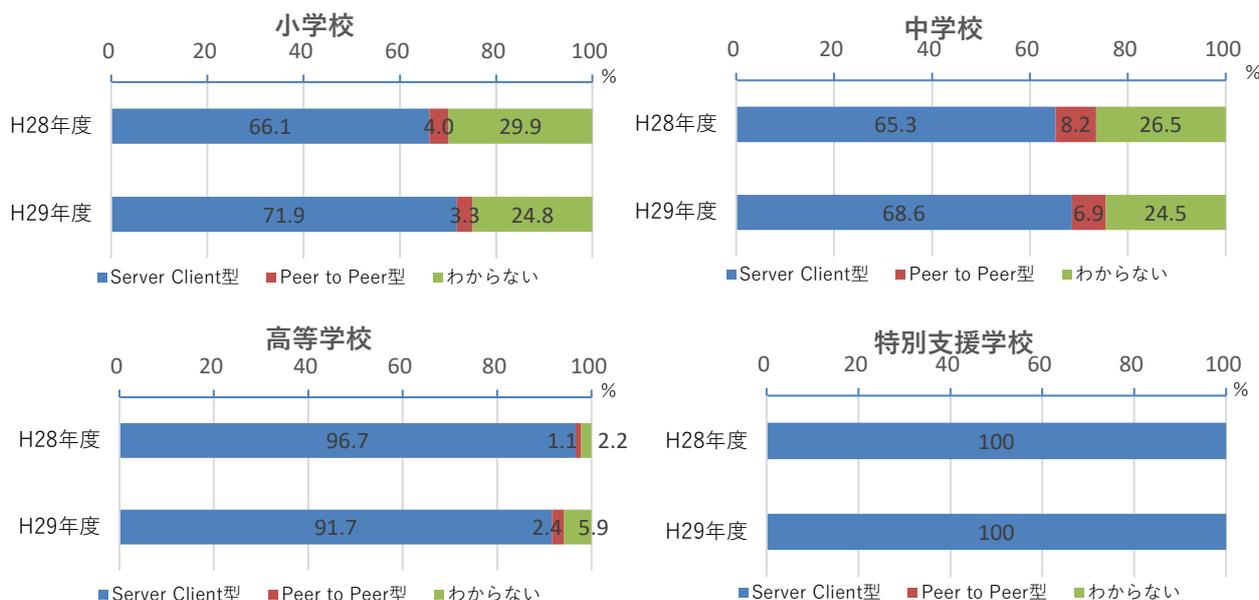
「キ その他」の主な記述は以下のとおりである。

- ・成績管理ソフト、保健管理ソフトでの共有（34校）
- ・保健管理ソフトでの共有（15校）
- ・AppleTVによる画面転送、ネットワークスキャナ（2校）

(1)④ ①で「ア 接続されている」を選択した学校のみ、お答えください。

教員用コンピュータのネットワーク形態をお答えください。

ア Client Server型 イ Peer to Peer型 ウ 分からない



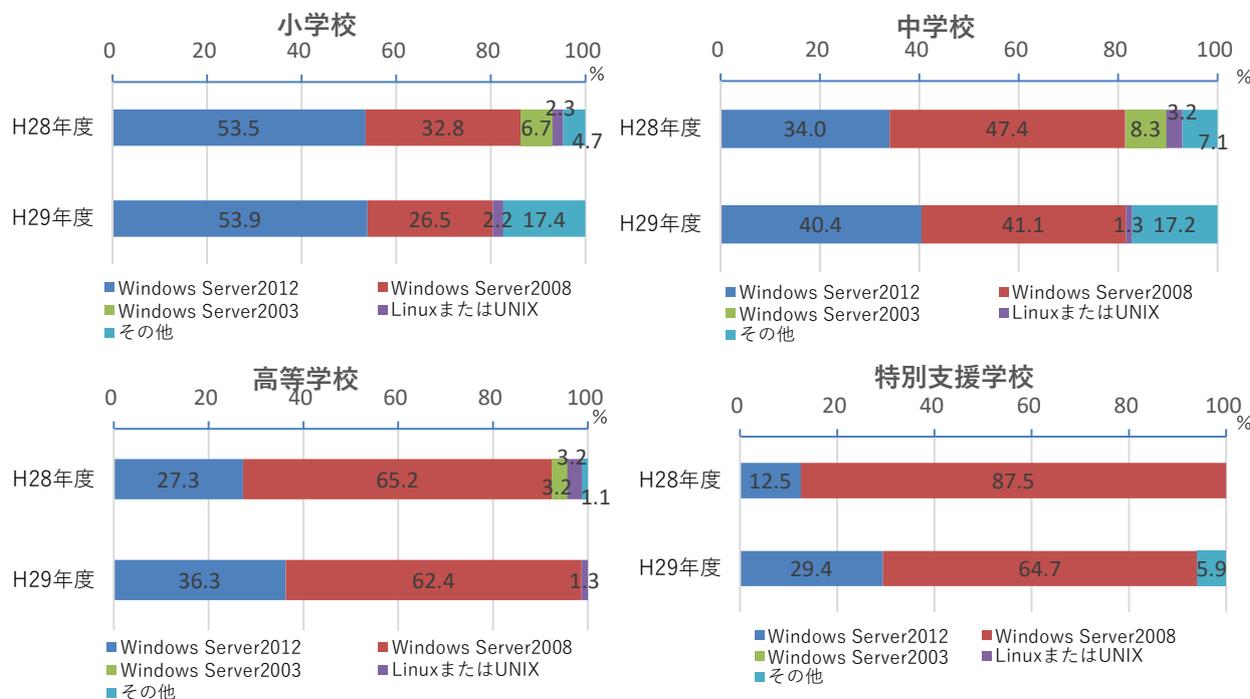
教員用コンピュータのネットワーク形態では、高等学校の約92%が「Client Server型」を導入している。特別支援学校においては「Client Server型」の導入率が100%である。

(1)⑤ ④で「ア Client Server型」を選択した学校のみ、お答えください。

サーバ機の基本ソフトウェア（OS）をお答えください。（複数回答可）

ア Microsoft WindowsServer2012 イ Microsoft WindowsServer2008
ウ LinuxまたはUNIX エ その他

⑥ ⑤で「エ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。



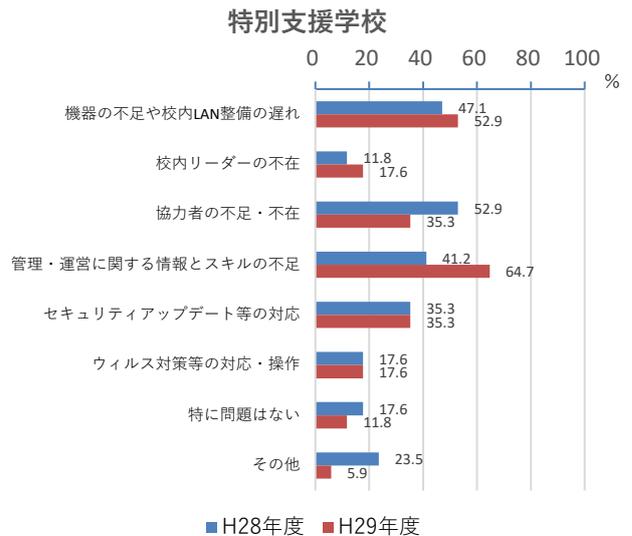
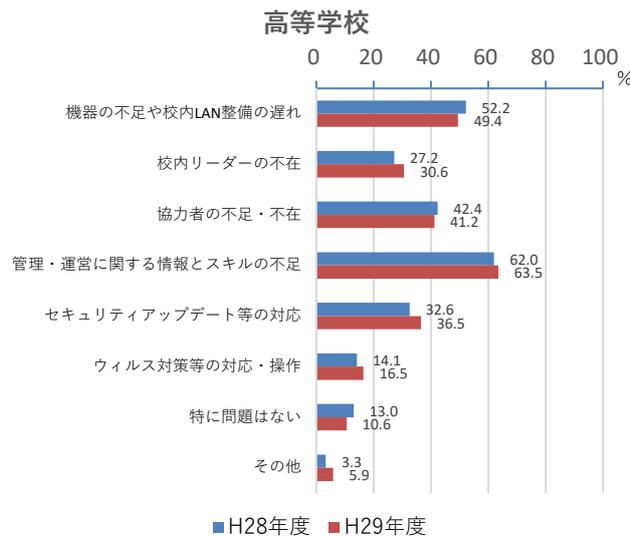
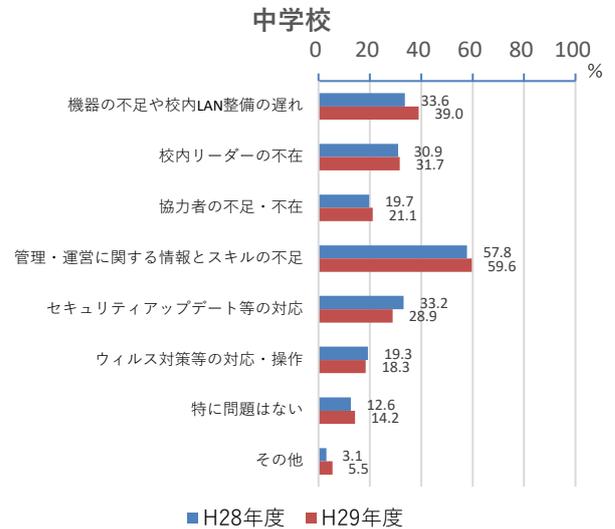
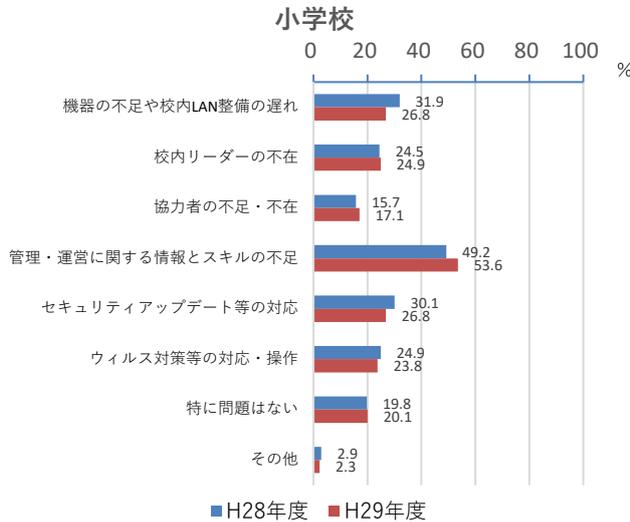
教員用ネットワークのサーバ機については、小学校において「Windows Server2012」が約半数を占めている。その他の校種では「Windows Server2008」が多数である。

「エ その他」の主な記述は以下のとおりである。

- ・Windows Server2003 (11校)
- ・不明 (8校)

(2)① 校内ネットワークを管理・運営する際の課題はどのようなことですか。(複数回答可)

- ア 機器の不足や校内LANの整備の遅れ イ 校内リーダーの不在 ウ 協力者の不足・不在
 エ 管理・運営に関する情報とスキルの不足 オ セキュリティアップデート等の対応
 カ ウィルス対策等の対応・操作 キ 特に問題はない ク その他
 ② ①で「ク その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。



校内ネットワークの管理・運営上の問題としては、全校種ともに「管理・運営に関する情報とスキルの不足」が上位となっており、概ね6割程度となっている。高等学校や特別支援学校では、「機器の不足や校内LANの整備の遅れ」が多い。

「ク その他」の主な記述は以下のとおりである。

- ・機器の老朽化による不具合への対応（9校）
- ・保守に関する予算措置（3校）
- ・担当者の知識、スキル不足（4校）